

# 平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)



学校法人 浦山学園

# 目 次

## 1 法人の概要

|                                                    |   |
|----------------------------------------------------|---|
| 1 浦山学園 建学の精神・理念・指針・行動規範、<br>および各箇所の教育理念・教育目的・教育方針等 | 1 |
| 2 法人の沿革                                            | 5 |
| 3 設置する学校・学部・学科等                                    | 6 |
| 4 学部・学科等の入学定員、学生数の状況                               | 7 |
| 5 役員・教職員の人数                                        | 8 |

## 2 事業の概要

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 1 経営基本方針                   | 9   |
| 2 学園全体の事業概況                | 1 2 |
| 〔設置校〕 入学者・在籍者数・進路決定率等 実績推移 | 1 3 |
| 3 各箇所の事業概要                 | 1 4 |
| （1）富山福祉短期大学                | 1 5 |
| （2）富山情報ビジネス専門学校            | 3 0 |
| （3）金沢中央予備校                 | 4 0 |
| （4）富山福祉短期大学訪問看護ステーション      | 4 3 |
| 4 理事会・評議員会開催状況             | 4 4 |

## 3 財務の概要

|               |     |
|---------------|-----|
| 1 財務の概要       | 4 6 |
| 2 資金収支計算書     | 4 7 |
| 3 活動区分資金収支計算書 | 4 7 |
| 4 事業活動収支計算書   | 4 9 |
| 5 貸借対照表       | 5 0 |
| 6 各種財務データの推移表 | 5 1 |
| □経年比率         | 5 1 |
| □主な財務比率       | 5 8 |

## 4 資 料 新聞記事（別冊）

## 1 法人の概要

### 1 浦山学園教育理念・指針・行動規範、および各箇所の教育理念・教育目的・教育方針 等

#### ①浦山学園 教育理念・指針・行動規範

#### 建学の精神

- 一 質実にして明朗な人格形成
- 一 専門的な学問とその応用を通して社会に貢献する人格形成

#### 教育理念

浦山学園はより時代のニーズにあった高度な専門性を高める教育機関であると共に、人間としての素養・教養を高め、個性・自主性を重視し、知行合一を基本に実践躬行を以って、より良き社会の形成に自ら貢献出来る人材育成を期する。

#### 指針

- ① 学生格差が益々顕著な時代において、一人ひとりのニーズに応えるため、個別対応が浦山学園の基本であることを確信し、カウンセリング(コミュニケーション能力の向上)の徹底を図り、学生の目標達成をサポートする。
- ② 外部・内部とのコミュニケーションが益々重要になった今日において、電子メール等を中心とするノーツやインターネットの環境の充実を図る。
- ③ 各箇所の重点目標・活動計画、個人目標を明確にし、自らの役割を推進する。
- ④ 教職員一人一人明るく積極的に仕事に従事するため、働く環境は常に清潔で機能的に整理整頓されていなければならない。 また待遇も公正かつ適切でなければならない。

## 行動規範

- ① 我々教職員は、よりよく学び(Learning)・よりよく振る舞い(Behavior)・常に思いやりをもって (Compassion)・より高い抱負で(Aspiration) 21世紀にチャレンジする。

LB CompAs = エルビー羅針盤 思考

- ② 「共に育つ」の精神に立ち、常に学生や社会のために「何が役に立つか」を考えながら行動する。
- ③ 我々は、常に素直さをもって学生や企業・社会の声に耳を傾け、新しい時代の変化に目を向けながら社会のニーズをつかむ。
- ④ 業務効率の向上を指向し、一人で仕事を抱え込まず、常に業務の段取り・スケジュールを設定し共有しつつ行動する。
- ⑤ 各目標達成のため会議および日常の仕事は、教育理念・指針・行動規範と重点目標・活動計画・個人目標連動を意識して実施する。
- ⑥ 円滑な内部コミュニケーションを推進するため、効率的・効果的な会議を推進および有効なフォーマットを活用する。
- ⑦ 議事録やその他の報告などは極力データベースで実施する。
- ⑧ 重点目標に伴う活動計画などの進捗状況・推進上の課題などを定期的にチェックし、達成に向けて実施する (PDCA)。問題解決は報告・連絡・相談を実施しながら、個人目標達成に向けて行動する。
- ⑨ 広くビジネスパートナーを求め、新しいフィールドへ踏み出す積極的な姿勢をもって行動する。
- ⑩ 礼儀正しい学園文化の更なる向上のため、教職員間・学生たちとの挨拶を元気に励行する。

② 各箇所 教育理念・教育目的・教育方針 等

| 学校名      |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 富山福祉短期大学 | 教育理念        | 富山福祉短期大学は、より時代のニーズにあった高度な専門性を高める教育機関であると共に、人間としての素養・教養を高め、個性・自主性を重視し、知行合一を基本に実践躬行を以って、より良き社会の形成に自ら貢献出来る人材育成を期する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|          | 教育目的        | 本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、深く専門の学芸を教授研究し、知性・教養を高め、職業及び実生活に必要な能力を養い、もって社会性・創造性豊かな人間形成を図ることを目的とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|          | 教育目標        | 「つくり、つくりかえ、つくる」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|          | 教育方針        | 社会性・創造性豊かな「私」をつくり続けるために<br>①専門知識・技術の修得<br>専門職として生きる「私」をつくり続ける。個々の「私」の知的要求に応え、専門知識・技術を深く探究できる環境をつくり出す。<br>②学生主体の学び<br>学ぶ主体である「私」をつくり続ける。個々の「私」の主体的な学びをサポートし、その主体的な課題追究のプロセスを援助する。<br>③コミュニケーションスキルの修得<br>福祉の基本的スキルであるコミュニケーション能力を高める。他者との関わりによって「私」をつくり続けていくように援助する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|          | 各学科、専攻の教育目的 | 1. 社会福祉学科<br>(1) 社会福祉専攻<br>福祉の専門的知識および技術、学芸を生かし、人や地域社会とあたたかい関わりをもち、人権を擁護することのできる人間性豊かなソーシャルワーカー（社会福祉士）や地域社会に貢献できる福祉人材の育成を図ることを目的とする。<br>(2) 介護福祉専攻<br>その人らしい生活を支えるために必要な、専門的知識、心身の状況に応じた生活支援技術を身につけ、それらを必要とする人の尊厳と自立支援の意義を理解し、よりよい援助関係を築くための豊かな感性を伸長できる介護福祉士の育成を図ることを目的とする。<br>2. 看護学科<br>看護師として正確な専門知識と安全な技術を身につけ、本人と家族を含めた看護の対象やその対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深め、信頼関係を形成し、安心感を与えることのできる態度と幅広い教養を身につけ、常に自己を向上させる意欲を備えた看護実践者の育成を図ることを目的とする。<br>3 幼児教育学科<br>子どもの保育・教育に関する専門知識、技術を修得し、音楽や図工、体育などを通して、子どもの感性を育む表現力を身につけ、さらに保護者や同じ職場の仲間から信頼される幅広い教養と使命感をもって、子どもたちの幸せをサポートできる人間愛に満ちた保育者、教育者の育成を図ることを目的とする。 |

| 学校名              |            |                                                                                                                                                                                        |
|------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 富山情報ビジネス<br>専門学校 | 教育理念       | 富山情報ビジネス専門学校は、より時代のニーズにあった高度な専門性を高める教育機関であると共に、人間としての素養・教養を高め、個性・自主性を重視し、知行合一を基本に実践躬行を以って、より良き社会の形成に自ら貢献出来る人材育成を期する。                                                                   |
|                  | 教育目的       | 本校は、徳性の涵養を基本とし、個別対応により、学生一人一人の夢・目標の達成に努め、専門知識の向上をはかり、もって社会性・創造性・国際性豊かな人材の育成を目的とする。また、地域に開かれた学校として生涯学習機関としての確立を目指す。                                                                     |
|                  | 教育方針       | 本校は、知識の向上（スペシャリスト）・意欲の向上（エキサイティング&チャレンジ）・コミュニケーション能力の向上（コミュニケーター）を教育方針の基本とする。さらに教育機関としての評価の公平さを期すために、ISO システムを活用し、目標を設定し、確認し、継続的改善を図る。                                                 |
| 金沢中央予備校          | 教育理念       | 金沢中央予備校は、より時代のニーズにあった高度な専門性を高める教育機関であると共に、人間としての素養・教養を高め、個性・自主性を重視し、知行合一を基本に実践躬行を以って、より良き社会の形成に自ら貢献出来る人材育成を期する。                                                                        |
|                  | 教育目的       | 本校は、高等学校在籍者・高等学校卒業者及びそれと同等以上の資格があると認められる大学受験希望者に対して、社会性・創造性豊かな人間形成を基本とした進学指導を行う。                                                                                                       |
|                  | 教育方針       | 本校は、＜知識・意欲・コミュニケーション＞の充実を目指した指導、すなわち、<br>① 知識を最大限に高め広め深める、最高の学習環境を提供する。<br>② 明確な目標と信頼できる方法論を提示し、常に生徒の学習意欲を啓発する。<br>③ 生徒・教職員間の潤沢なコミュニケーションを確立し、共に目標を完遂する。<br>以上の指導方針に基づき、上記の教育目的の達成を図る。 |
| 学園本部             | 学園本部<br>目的 | 学園本部は、各箇所の重点目標達成に向け、学園内外との情報共有を積極的に行い、課題に対応する行動力を率先垂範し、以って学園理念の具体化を推進することを目的とする。                                                                                                       |

## 2 法人の沿革

|                    |                                                                                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1965) 昭和40年11月    | 各種学校 中央予備校が認可される                                                                         |
| (1966) 昭和41年 4月    | 各種学校 中央予備校が開校される                                                                         |
| (1966) 昭和41年12月26日 | 準学校法人 浦山学園が認可される                                                                         |
| (1968) 昭和43年 4月    | 各種学校 中央経済専門学校が開校される                                                                      |
| (1970) 昭和45年 4月    | 中央経済専門学校が富山経済専門学校へ校名を変更する                                                                |
| (1972) 昭和47年 4月    | 中央予備校富山校が開校される                                                                           |
| (1976) 昭和51年 4月    | 中央予備校金沢校が開校される                                                                           |
| (1976) 昭和51年 4月    | 各種学校 富山経済専門学校が専修学校として認可される                                                               |
| (1976) 昭和51年 5月    | 富山経済専門学校に商業実務専門課程の設置が認可される                                                               |
| (1980) 昭和55年 7月    | 中央予備校金沢校を金沢中央予備校へ校名を変更する                                                                 |
| (1982) 昭和57年 4月    | 中央予備校が高岡市駅南へ移転し、中央予備校高岡校として開校する                                                          |
| (1988) 昭和63年 7月    | 富山経済専門学校に文化教養専門課程の設置が認可される                                                               |
| (1996) 平成 8年12月    | 準学校法人浦山学園が学校法人として認可される                                                                   |
| (1996) 平成 8年12月    | 富山福祉短期大学の設置が認可される                                                                        |
| (1997) 平成 9年 4月    | 富山福祉短期大学社会福祉学科が開学される (入学定員 100 名)                                                        |
| (2002) 平成14年 4月    | 富山福祉短期大学社会福祉学科に社会福祉専攻 (入学定員 100 名)、介護福祉専攻 (入学定員 50 名) の課程が設置される                          |
| (2002) 平成14年 4月    | 富山経済専門学校を富山情報ビジネス専門学校へ校名を変更する。工業専門課程、教育・社会福祉専門課程が設置される                                   |
| (2002) 平成14年 4月    | 富山中央学院が開校される                                                                             |
| (2004) 平成16年 4月    | 富山福祉短期大学社会福祉学科に社会福祉専攻 (入学定員 50 名)、介護福祉専攻 (入学定員 50 名)、児童福祉専攻 (入学定員 50 名) の課程が設置される        |
| (2006) 平成18年 3月    | 富山福祉短期大学社会福祉学科児童福祉専攻において、保育士養成課程に加え、幼稚園二種免許教職課程が認可される                                    |
| (2007) 平成19年 3月    | 富山中央学院の廃止が認可される                                                                          |
| (2007) 平成19年12月    | 富山福祉短期大学看護学科の設置が認可される (入学定員 80 名)                                                        |
| (2008) 平成20年 4月    | 富山福祉短期大学看護学科が設置される                                                                       |
| (2009) 平成21年 4月    | 富山福祉短期大学幼児教育学科の設置が認可される (入学定員 50 名)                                                      |
| (2010) 平成22年 4月    | 富山福祉短期大学幼児教育学科が設置される<br>(社会福祉学科児童福祉専攻募集停止)                                               |
| (2013) 平成25年 3月    | 富山福祉短期大学訪問看護ステーションの設置が認可される<br>富山情報ビジネス専門学校幼児教育学科の設置が認可される<br>(入学定員 30 名 厚生労働省指定保育士養成施設) |
| (2015) 平成27年 3月    | 中央予備校富山校授業停止届 (平成27年度募集停止)                                                               |
| (2016) 平成28年11月    | 中央予備校富山校廃校認可                                                                             |
| (2016) 平成28年12月    | 浦山学園創立50周年を迎える                                                                           |
| (2018) 平成30年 3月    | 地学一体による地域課題解決拠点として教育・研究機関USP竣工                                                           |

### 3 設置する学校・学部・学科、施設等

(平成29年5月1日現在)

#### (1) 富山福祉短期大学

- ・ 社会福祉学科
  - 社会福祉専攻
  - 介護福祉専攻
- ・ 看護学科
- ・ 幼児教育学科

#### (2) 富山情報ビジネス専門学校

- ・ 高度情報システム学科
- ・ 情報システム学科
- ・ 幼児教育学科
- ・ デジタルメディア学科
- ・ インターネットビジネス学科
  - システム運用コース
  - Webコース
- ・ ホテル・ブライダル学科
- ・ 医療事務学科
- ・ 診療情報管理士専攻学科
- ・ 税理士・会計学科
  - 税理士コース
  - オフィス会計コース
- ・ インターナショナルビジネス学科
- ・ 日本語学科
  - 1年課程
  - 1年半課程
  - 2年課程

#### (3) 金沢中央予備校

- ・ 大学受験課程

#### (4) 富山福祉短期大学訪問看護ステーション

#### 4. 学科等の入学定員、学生数の状況

平成 29 年 5 月 1 日現在

##### 富山福祉短期大学

| 学 科 名  | 専攻・コース名 | 入学者数 | 入学定員 | 充足率    | 在籍者数<br>計 | 収容定員 | 収容定員<br>充足率 |
|--------|---------|------|------|--------|-----------|------|-------------|
| 社会福祉学科 | 社会福祉専攻  | 17人  | 50人  | 34.0%  | 41人       | 100人 | 41.0%       |
|        | 介護福祉専攻  | 30人  | 40人  | 75.0%  | 57人       | 80人  | 71.3%       |
| 看護学科   |         | 65人  | 80人  | 81.3%  | 185人      | 240人 | 77.1%       |
| 幼児教育学科 |         | 52人  | 50人  | 104.0% | 106人      | 100人 | 106.0%      |
| 計      |         | 164人 | 220人 | 74.5%  | 389人      | 520人 | 74.8%       |

##### 富山情報ビジネス専門学校

| 課 程 名   | 専攻・コース名                                              | 入学者数 | 入学定員 | 充足率   | 在籍者数<br>計 | 収容定員 | 収容定員<br>充足率 |
|---------|------------------------------------------------------|------|------|-------|-----------|------|-------------|
| 工業専門    | 高度情報システム、情報システム                                      | 36人  | 40人  | 90.0% | 87人       | 120人 | 72.5%       |
| 教育・社会福祉 | 幼児教育                                                 | 22人  | 30人  | 73.3% | 39人       | 60人  | 65.0%       |
| 商業実務    | デジタルメディア、ホテル・ライタル、医療事務、診療情報管理士、インターネットビジネス、税理士・会計、など | 78人  | 135人 | 57.8% | 170人      | 270人 | 63.0%       |
| 文化・教養   | 日本語、公務員                                              | 70人  | 75人  | 93.3% | 94人       | 100人 | 94.0%       |
| 計       |                                                      | 206人 | 280人 | 73.6% | 390人      | 550人 | 70.9%       |

##### 金沢中央予備校

| 課 程 名 | 専攻・コース名 | 入学者数 | 入学定員 | 充足率   | 在籍者数<br>計 | 収容定員 | 収容定員<br>充足率 |
|-------|---------|------|------|-------|-----------|------|-------------|
| 大学受験  |         | 70人  | 150人 | 46.7% | 70人       | 150人 | 46.7%       |
| 計     |         | 70人  | 150人 | 46.7% | 70人       | 150人 | 46.7%       |

##### 学 園 全 体

|  |  | 入学者数 | 入学定員 | 充足率   | 在籍者数<br>計 | 収容定員   | 収容定員<br>充足率 |
|--|--|------|------|-------|-----------|--------|-------------|
|  |  | 440人 | 650人 | 67.7% | 849人      | 1,220人 | 69.6%       |

## 5 役員・教職員の人数

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

### (1) 役員

理事 8 人 (うち、理事長 1 人、常勤理事 3 人)

監事 3 人 (うち、常勤監事 0 人)

評議員 17 人 (うち、常勤評議員 8 人)

### (2) 教員

|          | 富山福祉<br>短期大学 | 富山情報<br>ビジネス<br>専門学校 | 金 沢<br>中央予備校 | 富山福祉短期<br>大学訪問看護ス<br>テーション | 学園本部 | 計   |
|----------|--------------|----------------------|--------------|----------------------------|------|-----|
| 学 (校) 長  | 1            | 1                    | 1            | 0                          | 0    | 3   |
| 副学 (校) 長 | 0            | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 0   |
| 教 授 (諭)  | 12           | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 12  |
| 准教授 (諭)  | 5            | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 5   |
| 講 師      | 7            | 20                   | 3            | 0                          | 0    | 30  |
| 助 教      | 6            | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 6   |
| 助 手      | 4            | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 4   |
| 専任 計     | 35           | 21                   | 4            | 0                          | 0    | 60  |
| 兼 任      | 127          | 54                   | 13           | 0                          | 0    | 194 |
| 合 計      | 162          | 75                   | 17           | 0                          | 0    | 254 |

### (3) 職員

|         | 富山福祉<br>短期大学 | 富山情報<br>ビジネス<br>専門学校 | 金 沢<br>中央予備校 | 富山福祉短期<br>大学訪問看護ス<br>テーション | 学園本部 | 計  |
|---------|--------------|----------------------|--------------|----------------------------|------|----|
| 専 任     | 18           | 14                   | 1            | 1                          | 5    | 39 |
| 常 勤 嘱 託 | 0            | 0                    | 0            | 0                          | 0    | 0  |
| 非常勤嘱託   | 5            | 5                    | 0            | 3                          | 0    | 13 |
| 合 計     | 23           | 19                   | 1            | 4                          | 5    | 52 |

(職員は時短勤務者を含む)

## **2 事業の概要**

### **1. 平成 29 年度 経営基本方針**

#### **I. 経営方針を起点とした仕事の重点化と積み上げ**

この経営基本方針を起点に、2 つのことを実現したいと考えています。

一つは、仕事の重点化です。私たちは文字通り、仕事に忙殺されています。

すべての仕事を合格点でクリアすることは、相当高い能力をもってしても無理です。

結果、何が起ころかといえ、仕事をこなすことです。こなさなければならないことはたくさんありますから、仕事をした気にはなりません。でも、それは本来の仕事ではありません。仕事と呼ぶ成果を得るには最初に仮説が必要ですし、その仮説に基づいた検証と軌道修正を根気よく続けていかなければなりません。

ですから、実現したい二つ目のことは、仕事に時間軸を持たせることです。時間軸を持つということは、言い換えると総括する文化を作りましょうということです。

総括なきところでの新たな取り組みへの着手は、我々自身の体力を奪います。PDCA という言葉が学内にありながらも、それを重要な課題で本当に回しているかには疑問の余地があります。「以前やったことがあるけど・・・」という言葉は、仕事がどこかでフェードアウトしてしまいがちな私たちの体質をよく示しています。絞り込んだ重点項目をやりきることが大切です。いろいろと先駆的な取り組みがされていますが、それをきちんと積み上げて、組織の知恵やノウハウにできるようにしましょう。

組織として成果を手にすることが、皆さん一人一人のキャリアの積み上げと重なる、両者の成長が軌を一にすることを目指したいと考えます。

これら二つの実現のために、具体には 4 つの観点を今回の経営基本方針発表に伴い、取り組みを進めたいと考えます。

#### **1 点目は「経営方針から個人の仕事への一貫性」**

この経営基本方針を起点に箇所事業計画、部門事業計画の 2 つの事業計画から個人の目標設定まで一貫性をもったものとして策定します。

#### **2 点目は「部門事業計画の明確化」**

2 つの事業計画の中でも、部門の事業計画の位置づけをあらためて明確化し、箇所の計画と個人の仕事を結びつけるものとし、部門長の意思、計画を明確化します。

#### **3 点目は「事業計画の理解徹底」**

経営基本方針、ならびに 2 つの事業計画をそれぞれ幹部教職員と共有し、個人目標に落とし込む前に、その考え方の背景等について十分な理解ができる機会を持ちます。

#### **4 点目は「経営方針と予算、人事の一体化」**

経営方針の具体化を裏付けるものとして、業務のマネジメントをする人と、仕事の裏付けとなるお金の問題と一体で考えなければなりません。つまり、経営基本方針は人事、予算計画と一体のものとしなければなりません。

#### **II. 平成 29 年度経営基本方針**

このたびの経営基本方針では平成 29 年度当年度の 2 点と翌 30 年度の準備としての 2 点の計 4 点を学園経営最重要テーマとして掲げます。言うまでもなく、私たちの仕事は、つねに当該年度のことと同時に、さらに次の年度を見据えた仕込みの 2 階建てで考える必要があります。

当年度の 2 点は①学生確保と②仕事改革です。翌年度への準備は①USP 稼働と②構造改革です。

### 当年度①学生確保について

これまでも様々な取り組みがされてきたことと思いますが、入試広報の定石を今一度、徹底しなければなりません。定石を踏むとは、次の 3 点を明確化することです。

一つは、対象となる高校生をセグメント化することです。高校生をいくつかの属性によってグルーピングし、私たちの短大、学校にアクセスしてきている高校生のタイプを見極めなければなりません。

2 点目は、そのセグメントのいずれが、私たちの主要対象であるのかを明確にすることです。

3 点目は対象と広報施策の組み合わせによるパターンごとの年間施策のリテンションレートを押さえることです。

経年でのこの蓄積こそが、当該組織の学生募集広報のノウハウの基軸にほかなりません。これは学生募集広報の担当部門が主管としてやらなければならないことですが、さらに重要なことは、学生募集はその担当である各箇所の企画推進部だけが負うべきものではないということです。3 つのポリシーの一貫性が言われるように、入口だけの努力だけで、継続的な学生確保ができる時代はすでに終わっています。広報の基軸となる競争環境を意識した組織としてのアイデンティティも明確にしなければなりませんし、それに応じた 3 つのポリシーとその実体づくりが必須です。教学と広報が一体となって戦略を具体化しなければなりません。

### 当年度②仕事改革について

最大のテーマは、人に張り付いた仕事からの脱却です。あの人だからできると言われることはうれしいものですが、それは組織としては NG です。皆さんに座っていただく椅子=ポジションにこそ、役割と職責がついているのです。どなたに座っていただくかは、現時点ですでにその椅子に相応しい、あるいはその椅子に座ってもらう準備が一定程度できていて、チャレンジしてもらえる方になります。人が代わっても、つねに学園全体にこういう人に座ってもらう椅子がある、それがわが学園の仕事の構造となるものです。これを反映した人事の仕組みを役割職責制度といいます。人に張り付いた仕事から脱するとは、この仕組みへの転換です。

また、個人目標の設定とその評価も大事なことです。部門の重点課題をメンバーの総合力の中でどうデザインするかという部門の責任者の仕事により重要になりますし、現在のように大部分の評価が中央値によってしまうあり方自体にメスを入れなければなりません。今の状態は残念ながら目標設定と評価はほとんど形骸化していると言って差支えないと考えます。あわせて、会議体での的確な議案設定を徹底し、一つ一つの仕事について、検証を続ける本来の PDCA を実現しなければなりません。

### 次年度①USP(ウラヤマ ソーシャル プラットホーム)について

わたしたち学園のこれからの基本コンセプトになるものです。コンパクトカレッジである点を強みに導くキーファクターは「地域での関係人口」の拡大です。「関係人口」はこのプラットホームの成果を図る指標です。連携機関の数や受講生の数など機関の活動を通じてネットワークに入った人や組織の数を言います。

地域での存在感は、学生募集にも影響を与える基盤となるものです。既存の訪問看護ステーションや共創福祉センター、ボランティアセンターもこのプラットフォーム上の重要なプレーヤーですが、おそらく先生方の地域との活動などもあらためて確認し、地域との接点拡大を学園の様々な資源を最大活用して推進します。

3つの教育・研究機関を持ちながらも、総じてコンパクトカレッジである私たちは、コンパクトである分、地域との深いかわり、「地学一体」の体制を構築し、ブランドを形成しなければ必要とされる存在にはなれません。私たちは「地学一体」における、地域の課題を解決する拠点になると同時に、それを教育に反映することで、職業教育が社会的に問われている今こそ、独自の職業教育ブランド確立へ歩みを強く進めなければなりません。

### **次年度②構造改革について**

各箇所が抱える構造的な問題への取り組みです。学科の再編や新規事業の検討、また、その移行計画の具体化です。年度内に成果を手にすることはできませんが、ここに着手をしておかないと、我々学園の持続的な発展はあり得ません。本件の事業計画策定対象箇所は、構造改革の現時点での仮説とその仮説検証をいかにを行い、構造改革計画として理事会に上程するまでの道筋を計画化してください。

以上の4点を富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校、金沢中央予備校、そしてこれまで箇所と呼ばれていなかった学園本部の4つの箇所にて、事業計画として策定をお願いします。

なお、各箇所の事業策定段階および進捗管理の段階において、学園本部と各箇所・部課との協議により、具体的な事業計画策定、課題対応方針をその段階に応じて確認、共有していくものいたします。

以上

## 2. 学園全体の事業概況

建学の精神である「質実にして明朗な人格形成」「専門的な学問とその応用を通して社会に貢献する人格形成」を教育活動の基本とし、浦山学園は 2016 年（平成 28 年）に学園創立 50 周年を迎えた。

学園はこれまで情報・観光・医療・福祉・教育の各分野を通して実践的職業教育に取り組んできたが、大きな時代変革の局面において、今後は更に、地域課題の側から展開する考え方を学園の職業教育のコンセプトとし、教育のオープンイノベーションを通して「地学一体による地域課題解決拠点としての教育・研究機関」を目指す。

その拠点として、平成 29 年 9 月 19 日に U S P（ウラヤマ ソーシャル プラットフォーム）建築に着工した。限られた工期ではあったが、無事、平成 30 年 3 月 30 日完成。平成 30 年 4 月 24 日に竣工式が行われた。

竣工した U S P は、地域創生を担う学生たちと共に、地域と学校が一体となり、様々な地域課題に取り組めるオープンコミュニティの場とする。地域創生＝地域課題解決のため、地域の皆さまと共に、学生主体の学びを中心として、U S P が大いに活動されることを期待している。

平成 29 年度は、学生募集、仕事改革をすすめ、U S P 建築、構造改革会議など、地方創生に寄与できる学園を目指した準備期間となった。

また、学園全体の教育活動は、①教育の質向上に向けての取り組みとして学習成果の量的・質的なアセスメント方法としての学習到達度評価基準を用いた学習成果の見える化。②地域連携の全学的な取り組み。③留学生受入れスキームを稼働させたインターナショナルラーニングキャンパスへの取り組みなど、昨年度に引き続き進めている。

今後も、地域の求められる学校として、質の高い取り組みを使命として推進する。

| 〔設置校の概要〕 入学者・在籍者数・進路決定率等 実績 |             |             |                          |        |        |        |        |        |
|-----------------------------|-------------|-------------|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 箇所名                         | 項目          |             | 平成24年度                   | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| 富山福祉短期大学                    | 入学定員数       |             | 220                      | 220    | 220    | 220    | 220    | 220    |
|                             | 入学志願者数      |             | 355                      | 420    | 311    | 306    | 297    | 280    |
|                             | 受験者数        |             | 339                      | 397    | 289    | 279    | 278    | 275    |
|                             | 合格者数        |             | 262                      | 287    | 249    | 242    | 261    | 252    |
|                             | 入学者数        |             | 210                      | 222    | 188    | 171    | 150    | 164    |
|                             | 収容定員        |             | 520                      | 520    | 520    | 520    | 520    | 520    |
|                             | 在籍学生数       |             | 501                      | 521    | 500    | 448    | 393    | 389    |
|                             | 卒業者数        | a           | 187                      | 198    | 206    | 197    | 145    | 163    |
|                             | 内 短期大学士授与数  |             | 187                      | 198    | 206    | 197    | 145    | 163    |
|                             | 内 就職・進学希望者数 | b           | 186                      | 178    | 197    | 188    | 135    | 156    |
|                             | 就職者数        | c           | 175                      | 174    | 190    | 182    | 128    | 146    |
|                             | 進学者数        | d           | 4                        | 3      | 6      | 5      | 5      | 7      |
|                             | 進路決定率       |             | 96.2%                    | 99.4%  | 99.5%  | 99.5%  | 98.5%  | 98.1%  |
| 富山情報ビジネス専門学校                | 入学定員数       |             | 255                      | 265    | 265    | 260    | 280    | 280    |
|                             | 入学志願者数      |             | 161                      | 193    | 173    | 204    | 219    | 221    |
|                             | 受験者数        |             | 159                      | 193    | 172    | 204    | 219    | 221    |
|                             | 合格者数        |             | 159                      | 192    | 172    | 204    | 219    | 221    |
|                             | 入学者数        |             | 150                      | 186    | 164    | 196    | 212    | 206    |
|                             | 収容定員        |             | 550                      | 550    | 550    | 575    | 550    | 550    |
|                             | 在籍学生数       |             | 298                      | 347    | 377    | 393    | 405    | 390    |
|                             | 卒業者数        | a           | 115                      | 130    | 166    | 176    | 175    | 196    |
|                             | 内 専門士授与数    |             | 93                       | 106    | 137    | 128    | 130    | 118    |
|                             | 内 高度専門士授与数  |             | 4                        | 5      | 6      | 8      | 9      | 9      |
|                             | 内 就職・進学希望者数 | b           | 109                      | 128    | 157    | 173    | 165    | 190    |
|                             | 就職者数        | c           | 87                       | 117    | 113    | 135    | 113    | 128    |
|                             | 進学者数        | d           | 15                       | 8      | 34     | 37     | 52     | 61     |
|                             | 進路決定率       |             | 93.6%                    | 97.7%  | 93.6%  | 99.4%  | 100.0% | 99.5%  |
| 中央予備校富山校                    | 入学定員数       |             | 150                      | 150    | 150    | -      | -      | -      |
|                             | 入学志願者数      |             | 94                       | 67     | 40     | -      | -      | -      |
|                             | 受験者数        |             | -                        | -      | -      | -      | -      | -      |
|                             | 合格者数        |             | -                        | -      | -      | -      | -      | -      |
|                             | 入学者数        |             | 94                       | 67     | 40     | -      | -      | -      |
|                             | 収容定員        |             | 150                      | 150    | 150    | -      | -      | -      |
|                             | 在籍学生数       |             | 94                       | 67     | 40     | -      | -      | -      |
|                             | 卒業者数        | a           | 101                      | 70     | 42     | -      | -      | -      |
|                             | 内 就職・進学希望者数 | b           | 90                       | 70     | 38     | -      | -      | -      |
|                             | 就職者数        | c           | 1                        | 0      | 1      | -      | -      | -      |
|                             | 進学者数        | d           | 77                       | 56     | 34     | -      | -      | -      |
|                             | 進路決定率       |             | 86.7%                    | 80.0%  | 92.1%  | -      | -      | -      |
| 金沢中央予備校                     | 入学定員数       |             | 150                      | 150    | 150    | 150    | 150    | 150    |
|                             | 入学志願者数      |             | 83                       | 88     | 75     | 58     | 71     | 70     |
|                             | 受験者数        |             | -                        | -      | -      | -      | -      | -      |
|                             | 合格者数        |             | -                        | -      | -      | -      | -      | -      |
|                             | 入学者数        |             | 83                       | 88     | 75     | 58     | 71     | 70     |
|                             | 収容定員        |             | 150                      | 150    | 150    | 150    | 150    | 150    |
|                             | 在籍学生数       |             | 83                       | 88     | 75     | 58     | 71     | 70     |
|                             | 卒業者数        | a           | 93                       | 93     | 86     | 70     | 76     | 77     |
|                             | 内 就職・進学希望者数 | b           | 80                       | 75     | 69     | 56     | 59     | 59     |
|                             | 就職者数        | c           | 0                        | 0      | 0      | 0      | 0      | 1      |
|                             | 進学者数        | d           | 64                       | 64     | 49     | 47     | 41     | 51     |
|                             | 進路決定率       |             | 80.0%                    | 85.3%  | 71.0%  | 83.9%  | 69.5%  | 88.1%  |
| 学園全体                        | 全<br>体      | 入学定員数       |                          | 775    | 785    | 785    | 630    | 650    |
|                             |             | 入学志願者数      |                          | 693    | 768    | 599    | 568    | 571    |
|                             |             | 受験者数        |                          | 498    | 590    | 461    | 483    | 496    |
|                             |             | 合格者数        |                          | 421    | 479    | 421    | 446    | 473    |
|                             |             | 入学者数        |                          | 537    | 563    | 467    | 425    | 440    |
|                             |             | 収容定員        |                          | 1370   | 1370   | 1370   | 1245   | 1220   |
|                             |             | 在籍学生数       |                          | 976    | 1023   | 992    | 899    | 849    |
|                             | 短期大学・専門学校   | 卒業者数        | a                        | 302    | 328    | 372    | 373    | 359    |
|                             |             | 内 短期大学士授与数  |                          | 187    | 198    | 206    | 197    | 145    |
|                             |             | 内 専門士授与数    |                          | 93     | 106    | 137    | 128    | 130    |
|                             |             | 内 高度専門士授与数  |                          | 4      | 5      | 6      | 8      | 9      |
|                             |             | 内 就職・進学希望者数 | b                        | 295    | 306    | 354    | 361    | 300    |
|                             |             | 就職者数        | c                        | 262    | 291    | 303    | 317    | 241    |
|                             |             | 進学者数        | d                        | 19     | 11     | 40     | 42     | 57     |
|                             |             | 進路決定率       |                          | 95.3%  | 98.7%  | 96.9%  | 99.4%  | 99.3%  |
|                             | 予備校         | 卒業者数        | a                        | 194    | 163    | 128    | 70     | 76     |
|                             |             | 内 就職・進学希望者数 | b                        | 170    | 145    | 107    | 56     | 59     |
|                             |             | 就職者数        | c                        | 1      | 0      | 1      | 0      | 0      |
|                             |             | 進学者数        | d                        | 141    | 120    | 83     | 47     | 41     |
|                             |             | 進路決定率       |                          | 83.5%  | 82.8%  | 78.5%  | 83.9%  | 69.5%  |
| 1                           | 各指標の基準日     | {           | 各年度5月 1日基準<br>各年度3月31日基準 |        |        |        |        |        |
| 2                           | 進路決定率の算出方法  |             | (c+d) / b                |        |        |        |        |        |

### 3 各箇所の事業概況

各箇所の事業概況は以下（１）～（４）の項目に沿って記載されています。  
ただし箇所によっては該当のない項目もあります。

(1)平成 29 年度学生募集活動の結果としての平成 30 年度入学生数（基準日：5 月 1 日現在）

(2)重点目標・活動計画を中心とした取組み成果

財団法人短期大学基準協会が定める短期大学評価基準 4 項目（※）に沿って記載されています。

各項目の頭に記載されているローマ数字はその項目をしめしています。

富山情報ビジネス専門学校・金沢中央予備校は、それぞれ読み替えて記載しており、該当しない評価基準項目もあります。

(3)その他の活動プログラム

(4)新聞記事等報道された資料

（※）財団法人短期大学基準協会が定める短期大学評価基準 4 項目

- I 建学の精神と教育の効果
- II 教育課程と学生支援
- III 教育資源と財的資源
- IV リーダーシップとガバナンス
- V その他（含む選択評価

## (1) 平成29年度学生募集活動の結果としての平成30年度入学生数

入学者185名を目標に、オープンキャンパスの実施日や内容等の見直し、入試制度改革、SNSの活用等計画的に実施したが、幼児教育学科の志願者減や辞退者増により、平成30年4月の入学者数は162名（入学定員220名）であったがその後、留学生2名が入国できず入学を取り消すこととなった。よって平成30年5月1日現在の最終的な入学者は160名となり、入学定員充足率は72.7%と平成28年度よりも微減した。（社会福祉学科社会福祉専攻21名、介護福祉専攻35名、看護学科62名、幼児教育学科42名）しかしながら、出願者228名に対する入学率は71.1%と高く（昨年度58.6%）なり、本学を第一希望で受験した学生が増えたことがうかがえた。オープンキャンパスなどへの参加者に対し、本学の魅力を伝えることができたと考えている。

次年度に向けては、各学科専攻が進学先とし積極的に選択されることを目指し、次年度入学目標を195名と設定した。今後はその確保を短大の最重要課題と位置付け、下記の活動に重点を置いて活動していきたい。

### ① オープンキャンパスの内容の見直しと充実

魅力のある体験授業、ランク分けした対応、1・2年生や保護者対象企画

### ② STPの明確化とそれを意識した高校訪問・ガイダンス

### ③ HP・SNSなど、広告活動の充実

学生サークルの利用

### ④ 高校演劇を介した学生募集活動の推進

平田オリザ先生授業・演劇プログラム

### ⑤ 高校担任へのアプローチ

### ⑥ 高大連携活動の推進

### ⑦ 県外学生の入学促進

### ⑧ 留学生の入学促進

### ⑨ 社会人学生や職業訓練生の入学促進

## (2) 重点目標・活動計画を中心とした取り組み成果

### I 建学の精神と教育の効果

#### A 建学の精神

本学では、建学の精神「質実にして明朗な人格形成」、「専門的な学問とその応用を通して社会に貢献する人格形成」を学内文書規定に従って承認を得て学内共有している。また、建学の精神、理念をカレッジガイドや学生ハンドブック、ホームページ等で公開し、オープンキャンパス、ガイダンスや説明会などで学内外に表明している。

## B 教育の効果

本学の教育目的・目標は、確立している。また、学科・専攻課程のディプロマポリシーは、それぞれの教育目的・目標に基づいて学習成果を明確に示すものとなっている。これまで構築してきた教育の基盤を踏まえ、教育の効果をより発展させるためにH29年度においては以下の活動を行った。

### ＜教育効果測定のために＞

学科・専攻課程の学習成果を測定する仕組みとして本学ではGPA(grade point average)制度を導入している。各科目で中間評価、期末評価を行い、平成26年度に指導基準を定め、学生の個別学習支援に活用している。

平成25年度からは、平成24年度に作成した学習到達度評価基準(学科・専攻別ルーブリック)を用いて全学年の評価を定期的に実施している。また、学生マイページ(学生用サイト)を用いた自己評価システムの構築を行い、平成26年度に稼働を開始した。また、平成27年度私立大学等教育設備整備事業により設置されたクリッカーを用いてより迅速、効果的な調査が可能となった。平成28年度からは学生が自主的に入力するよう各学科専攻で関わり、学生の自己成長への活用についての成果に期待している。

今後、学習成果の量的・質的なアセスメント方法として、評価基準の見直しやデータの分析を行い活用方法の検討・改善を進めていく必要がある。

### ＜教育の質保証のために＞

本学では教育の質保証のために、学校教育法や短期大学設置基準等の各種法令の変更等について、関係省庁からの通達、通知や研修会への参加、私学事業団や関係団体からのメールマガジンも活用し、情報を得るように努めている。また、通達や通知に従い学事課が主となって学内へのメールによる通知を行い周知に努めている。さらに、適宜各種会議において周知し、SD、FDを実施している。

FDについて学内では共創福祉研究会の活動を推進し、教務委員会、図書研究委員会を中心とした活動を進め、平成29年度には以下の研修を行った。

なお、平成29年度においては教職員を対象として以下の研修会を開催した。

#### ◆FD 研修

##### ① 平成29年9月2日(土) 第8回共創福祉研究会

演題：今なぜアクティブラーニングなのか

講師：溝上慎一 氏 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

#### ◆SD 研修

##### ① 平成29年9月27日(水) つくりかえポートフォリオとICE 福短マトリックス (社会福祉学科学科長 竹ノ山圭二郎教授)

##### ② 平成29年10月24日(水) 学習支援についての学習会 (カウンセラー 山岸由起)

##### ③ 平成29年10月25日(水) 3つのポリシーに基づく大学の取り組みの自己点検・評価と内部質保証(学事部長 村井嘉寛)

##### ④ 平成29年12月19日(火) 研究倫理 (富山大学 白木教授)

##### ⑤ 平成29年12月27日(水) 外国人留学生の受け入れに関して(学事課 高田三弘)

#### ◆学園全体研修

① 平成 29 年 8 月 23 日（水） I R 研修 学園本部

また教育の質保証のために、平成29年度も「私立大学等改革総合支援事業」の採択へ向けた改革に取り組んだ。その結果、平成28年度に引き続きタイプ1「教育の質的転換」およびタイプ2「地域発展」の採択を受けた。

今後、本学においてさまざまな蓄積されたデータを用いて適切に評価し、教育の発展と推進に役立てるためのIR（Institutional Research）機能を充実させることが課題である。

#### C 自己点検・評価

日常的に自己点検・評価を行うように心がけ、毎年定期的に自己点検・評価報告書を作成し公表している。自己点検・評価委員会はPDCA会議（学長、部長、学科長、専攻長、課長、各委員長）と同じ構成員で組織している。自己点検・評価報告書作成は重点目標作成と連動しており、自己点検・評価で明確となった課題に対応できるよう配慮しており、短大内でのPDCAサイクルの構築がなされている。

##### 【参考】

「私立大学等改革総合支援事業」の目的：教育の質的転換、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対する支援を強化するため、経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援する。■タイプ1「教育の質的転換」

全学的な体制での教育の質的転換（学生の主体的な学修の充実等）を支援。

＜評価する取組（例）＞

- 全学的教学マネジメント体制の構築
- シラバスの改善（主体的な学修を促す教育課程の編成）
- 学生の学習時間等の把握と充実
- 学生による授業評価結果の活用
- 履修系統図・ナンバリング・CAP制・学長裁量経費等の実施
- 外部組織と連携したProject-Based Learning（例：新商品の企画・プレゼン）の実施等
- 能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施 等

##### ■タイプ2「地域発展」

地域社会貢献、社会人受入れ、生涯学習機能の強化等を支援。

＜評価する取組（例）＞

- 自治体との包括連携協定の締結
- 全学的地域連携センターの設置
- 地域社会と連携した地域課題解決のための教育プログラム
- 地域の学校等への教育支援・子育て支援
- 社会人の受入れ（正規課程、履修証明プログラム、科目等履修生）
- 自治体や地元産業界等のニーズを踏まえた社会人教育プログラムの策定等

## II 教育課程と学生支援

### A 教育課程

本学の学科・専攻課程の学位授与方針は学習成果に対応し、卒業要件、成績評価の基準、資格取得の要件の詳細については学則に定めている。学科・専攻課程の学位授与方針は学内外に表明している。学内は、学生ハンドブックに記載し、各学期の開始時にオリエンテーションなどで説明・周知を図っている。学外は、本学ホームページにおいて公開している。学位授与の方針は、短期大学士として求められる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、総合的な学習経験と創造的思考力を反映したものとなっている。またそれぞれの専門職域の人材として求められる資質にも合致している。また、学習成果の量的・質的データの収集等によって教育の質保証を図っているため、学位授与の方針は、社会的な通用性を確保している。

各学科・専攻の教育課程は、本学の教育方針①専門知識・技術の修得、②学生主体の学び、③コミュニケーションスキルの修得に従って構造化されており、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）などが関連づけられ、体系的に編成されている。各学科・専攻のカリキュラムは、履修系統図を学生ハンドブックに記載し、ガイダンス時にも学生に説明を行っており、学習成果に対応した、分かりやすい授業科目の編成となっている。単位修得のための成績評価は、教育の質保証に向けて厳格に適用されている。本学のシラバスにおいて、達成目標・到達目標、授業内容、準備学習の内容、授業時間数、成績評価の方法・基準、教科書・参考書等が明示されており、学習教育目標・学習成果と科目の関連が学生に容易に把握されるよう工夫されている。各学科・専攻の教員は、各資格の養成課程における教員資格要件を満たし、かつ教員の資格・業績を基にした配置となっている。

入学者選抜においては、全ての試験種別で面接を必須とし、入学者選抜の方法は入学者受け入れの方針に対応している。昨年度、「面接評価採点表」の改訂を行ったことによって、面接試験における評価項目が、各学科・専攻のアドミッション・ポリシーおよび学習の基本3要素（「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」）に明確に対応したものとなり、入学者選抜における多様な評価観点の明確化が図られた。入試成績と入学後のGPAの追跡調査を行ったところ、2・3年生（旧面接評価採点表）では  $r=.21$  であったのに対して、1年生（新面接評価採点表）では  $r=.30$  と大きく向上しており、入試選抜における評価基準の妥当性が向上したものと考えられる。

各学科・専攻課程の教育課程の学習成果は、社会福祉士や福祉の人材・介護福祉士・看護師・保育士・幼稚園教諭として求められる知識・技術・資質・能力・態度をその内容としていることから、具体性がある。学則に規定する卒業に必要な単位を修得することにより学習成果を獲得することが可能である。さらに、本学ではAD制度と週フォリオを活用した個別学生支援を実施しており、週フォリオを用いた教員と学生とのやり取り及び個別学生面談を通して、倫理観、主体的な問題解決能力、コミュニケーション力、生涯学習力と実践力の涵養を図っている。これらのことから、学習成果は達成可能である。それぞれの学年・学期毎に開設されている科目の単位を修得し、各科目の学習成果をそれぞれ獲得していくことによって、卒業時の学習成果を獲得できるように計画されていることから、学習成果は一定期間内で獲得可能である。学習成果を獲得すると共に、それに直接的に関連して各国家資格及びその他の資格を取得できることから、学習成果に实际的な価値がある。学習成果について、各科目の評価を総合して表す指標としてGPAが活用されている。また、学習成果を直接的に査定する方法として各学科・専攻の学習到達度評価基準が構築されている。したがって、学習成果は測定可能である。

卒業生の進路先からの評価を聴取するために、毎年12月に前年度卒業生全員を対象に「就職先アンケート」を実施している。

## **B 学生支援**

学生の生活支援のために、各学科専攻ではAD（アドバイザー教員）体制を取り、学生の学習上及び学生生活上の相談・支援に、組織的に当たっている。AD教員による個別面談として、学生が記述した週フォリオを活用した面談を定期的実施することにより、学生の状況を把握している。把握した情報は、学生DB入力を行っている。また把握した学生の状況は、学科専攻内で情報共有し、必要に応じて全学での情報共有、情報交換を行うことで、個別対応を組織的に行ってきた。「富山福祉短期大学障害学生修学支援規程」第10条に基づき、障害や疾患のある支援を要する学生の対応方法についてマニュアルを整備し、学生情報DBに情報共有画面の追加を行い運用している。支援を要する学生について授業支援、就職支援などを全教職員で情報共有して支援している。H29年12月時点での支援学生は4名である。

学生の生活支援のための教職員の組織（学生指導、厚生補導等）については、学生委員会において学友会、5S委員会、サークル、保健室、カウンセリング室、ボランティア活動、就職などの各支援担当を置き、組織的に学生生活支援を行っている。サークルについては、平成28年度は前期20、後期5の公認サークルが承認された。社会貢献特別助成の対象サークルは11であった。公認サークルには、一般のサークル助成金と社会貢献サークル助成金を配布し、サークル活動の活性化・社会貢献の奨励を目指している。公認サークルには、専任教員が顧問になり、サークルの運営をサポートしている。

全学生が本学ボランティアセンターにボランティア登録しており、ボランティアセンターは学生の参加状況・活動内容を把握している。また、ボランティア活動に顕著な学生に対して、卒業時に活動賞として表彰している。

キャリア開発・支援課が学科専攻ごとの前年度・今年度就職状況を分析・検討しており、その結果を次年度就職学生の就職支援に活用している。

4年制大学への編入学希望者への支援として、卒業年次の半期授業料相当額を支給する「私宣言」奨学金の対象者を、昨年度から全学科・専攻へと拡大している。

入学手続き者に対し入学前学習を実施している。また H28 年度入学生から文章検定のテキストを入学手続き者に入学前課題と合わせて送付し、入学前のオリエンテーション時に確認テストを実施し、入学後の 11 月に文章検定試験を実施した。

## **III 教育資源と財的資源**

### **A 人的資源**

教員組織については、各学科・専攻の専任教員は短期大学設置基準に定める教員数を充足している。また、今年度も全教員を対象に外部講師による講習会や、eLCoRe による e-ラーニングプログラムの受講の取組みを行い、教員の研究倫理に対する意識を高めた。さらに、教員の研究活動の活発化のために、研究資金の獲得や地域との共同研究の推進などの取り組みを行った。総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の地域 ICT 振興型に共同で応募し、29 年度に採択、29 年度は継続研究となっている。また、大学コンソーシアム富山と富山県から各 1 件の外部資金を獲得している。

## B 物的資源

今年度もアクティブラーニングの推進のために、2号館201教室の利用促進とクリッカーの活用促進を行った。また、学生の自宅学習時間と授業理解度の調査にクリッカーを活用している。図書館では、コンピュータシステムの質的向上により検索、登録等の処理をスピードアップし、スムーズな対応、運営を行っている。防災管理の面では、10月に教職員と学生が参加して、地震と火災を想定した避難訓練を実施した。今後も、教職員・学生の防災意識を高め、有事に際し被災することなく避難できるよう継続的に実施していく予定である。

## C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源

学生と教員の双方向コミュニケーションを促進するためのツールとして、WEB上に「学生マイページ」を開設し、PCおよび携帯メールの双方に対応するシステムとして運用している。平成29年度も継続して、「学生の目標設定」と「教員のコメント」による学生・教員間のコミュニケーションと「求人票データベース」機能を使用しての求人情報のリアルタイム送信を中心に運用した。また、各学科・専攻で定める「ディプロマポリシー（学位授与方針）」について、学生の学習到達度を自己評価アンケートにより測定し、その結果を分析して、教育内容の充実・改善に役立てている。

## D 財的資源

（財的資源については、事業報告の巻末で財務の概要の記載をする。）

# IV リーダーシップとガバナンス

## A 理事長のリーダーシップ

理事長は、全教職員の全体会議や、各箇所とのMR会議などで建学の精神、教育理念、年度経営基本方針などを、教職員に向け繰り返し説明しており、建学の精神及び教育理念・目的を理解し、学園の発展に寄与している。

また、理事長は毎会計年度終了後2か月以内には、監事の監査を受け理事会の議決を経た後、その決算および事業報告を評議員会に報告し意見を求めているなど、理事会などを通じ学校法人の運営全般にリーダーシップを適切に発揮している。

## B 学長のリーダーシップ

学長は全教職員に対して「建学の精神と教育理念」を具現化する「学生の行動目標を示す福短マトリックス」の教育実践を通して「建学の精神」の意思を具体的に表明し、教育目標である「つくり、つくりかえ、つくる」教育の推進に努めている。

平成29年度は、4月と11月に学長の交代があったが、全ての方針等はそれぞれに受け継がれ、教育研究活動に支障を来すことはなかった。また、地域連携活動においても、共創福祉センターの機能を活性化させるよう、近隣自治体との連携を図りながら社会活動に貢献し、リーダーシップを発揮している。

## C ガバナンス

監事は、学校法人の業務および財産の状況について、毎会計年度監査を行うなど適宜監査し、監査報告書を作成し、当該会計年度終了後2か月以内に理事会および評議員会に提出している。理事会・評議員会では、各部署よりヒアリングした状況を元に、適切な意見を述べている。今後監事に求められる役割がますます重要になることから本学でも監事との連携を密にして、学校運営に取り組んでいく必要がある。

## **V その他（選択的評価基準の取り組み）**

### **1. 教養教育の取り組みについて**

各学科、専攻のカリキュラム・ポリシーの中に教養教育の目的、目標が定められている。教養教育は、①人間と現代の理解、②生涯学習力、③コミュニケーションの3つの柱で構成されており、それぞれに適切な科目が配置されるよう工夫されている。

地域の課題を知り、地域をつくりかえていく人材を育成するため、領域「とやま地域つくりかえ学」を設定し、この領域を「地域つくりかえ学」[親学]「富山コミュニティー論」の三科目で構成している。特に、27年度から開講された「富山コミュニティー論」は、学生が小グループで地域に出向き、主体的に地域課題を発見することを目的とした科目であり、担当教員の支援のもと、テーマの設定や調査の計画等を行い、インタビュー等の実践の結果を報告書としてまとめている。平成28年度からは、連携協定を結んだ自治体や施設等から学生が取り組む地域課題を提案いただき、それらのテーマで活動を行っている。29年度は、「ダウン症の方との関わりで学んだこと」(看護学科)、「自然保育の良さを知ろう」(幼児教育学科)、「若者の防災意識向上のためにできること ～SNSの可能性～」(社会福祉専攻)、などのテーマで取り組んだ。

### **2. 職業教育の取り組みについて**

「職業選択と自己実現」において、キャリアデザインと自己実現の関連について意識し、具体的な就職活動のノウハウを指導した。キャリア支援課では各種学内セミナーを実施するとともに、インターネットを介した情報の提供、また「就職、編入学ハンドブック」を作成し、時間を設けて学生に説明し、学生の学びと意欲の向上に繋げている。全ての学科で実習などが行われ、その際に教員や実習先の職員から、職業教育を受けている実情があり、支援体制は確立していると考えている。また、履修証明プログラムや聴講生の受け入れ体制を構築し、地域に対して学びの門戸を開いている。さらに、職業教育の効果は雇用者へのアンケートなどで測定・評価し、改善に繋げている。

### **3. 地域貢献の取り組みについて**

公開講座（地域つくりかえ講座）については、地域住民、関係機関職員、高校教諭、高校生、幼児を対象として、平成29年度は43回実施し、約500名の方に受講いただいた。また、平成25年度から、高岡市の地域包括支援センター10か所、平成26年度後半から射水市の地域包括支援センター5か所、南砺市の地域包括支援センターにおいて、連携した臨床美術の取組みが開始され、本学で開講した講座により養成された臨床美術士がそれぞれの地域包括支援センターへ出向き講座を担当している。地方自治体とは、射水市・高岡市、氷見市と連携協定を締結している。そのほか、社会福祉法人アルペン会、医療法人財団五省会、サンダーバーズ、富山県立福野高等学校とも連携協力に関する協定を結び、具体的連携を図っている。

平成29年度のボランティアの活動実績は556件となった。サークル活動においては、射水市社会福祉協議会や三ヶ地域振興会などと連携し、地域交流会などに参加したほか、「VCC：ボランティア・コーディネートサークル」「臨床美術サークル」等のサークルが常時活動した。また、「ちょっこりサークル」は、地域の発達障がいや様々なハンディキャップのある子どもたちのレクリエーション等の支援の活動を実施した。

#### (4) 新聞記事等報道された資料

| No | 掲載日                 | 記事タイトル         | 報道機関名          | 内容                                                               |
|----|---------------------|----------------|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 1  | 平成 29 年<br>4 月 1 日  | 富山福祉短大 学長に川目氏  | 北日本新聞          | 学校法人浦山学園が人事を発表。富山福祉短期大学の学長に川目俊哉氏が就任した。                           |
| 2  | 平成 29 年<br>4 月 1 日  | 富山福祉短大学長に川目氏   | 富山新聞           | 学校法人浦山学園が人事を発表。富山福祉短期大学の学長に川目俊哉氏が就任した。                           |
| 3  | 平成 29 年<br>4 月 1 日  | 富山福祉短大 学長に川目氏  | 北 陸 中 日 新<br>聞 | 学校法人浦山学園が人事を発表。富山福祉短期大学の学長に川目俊哉氏が就任した。                           |
| 4  | 平成 29 年<br>4 月 2 日  | 新入学生 164 人決意新た | 北日本新聞          | 4 月 1 日入学式。川目俊哉学長が「志ある専門職として、社会で求められる人になれるよう頑張ってもらいたい」と式辞を述べられる。 |
| 5  | 平成 29 年<br>4 月 2 日  | 164 人が入学       | 富山新聞           | 4 月 1 日入学式。川目俊哉学長が「本学での学びを、地域を支える高い志に昇華してほしい」と式辞を述べられる。          |
| 6  | 平成 29 年<br>4 月 11 日 | 来社 川目俊哉氏、喜多憲治氏 | 北日本新聞          | 川目俊哉学長が北日本新聞社を訪問。就任あいさつ。                                         |
| 7  | 平成 29 年<br>4 月 11 日 | 『地学一体』推進目指す    | 富山新聞           | 川目俊哉学長が富山新聞社を訪問。就任あいさつ。                                          |
| 8  | 平成 29 年<br>4 月      | Let's おがワールド！  | Kids Do        | 幼児教育学科 小川耕平講師の連載企画。遊具（アスレチック）を使った運動遊びを推奨。                        |
| 9  | 平成 29 年<br>4 月 19 日 | ざっくばらん         | 北日本新聞          | 幼児教育学科 1 年生 平井星蘭さんの活動紹介。                                         |
| 10 | 平成 29 年<br>4 月 25 日 | ほたるいか          | 北日本新聞          | 幼児教育学科 1・2 年生が太閤山ランドで合同体験学習をおこなった。                               |

| No | 掲載日                 | 記事タイトル                        | 報道機関名   | 内容                                                                                |
|----|---------------------|-------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 11 | 平成 29 年<br>4 月 26 日 | 幼児教育実習に向け 1・2 年<br>生合同学習      | 富山新聞    | 幼児教育学科 1・2 年生が太閤山ラ<br>ンドで合同体験学習をおこなった。                                            |
| 12 | 平成 29 年<br>5 月 9 日  | 市民 健康意識高める                    | 富山新聞    | 看護フェスティバル。看護学科卒業<br>生が「看護職員からの体験談」の特<br>別賞を受賞した。                                  |
| 13 | 平成 29 年<br>5 月 13 日 | 演劇的手法用いて講座                    | 北日本新聞   | 幼児教育学科 1 年生対象の特別講<br>座。演劇的手法を用いてコミュニケ<br>ーション力を高める方法について<br>指導を受けた。講師は平田オリザ<br>氏。 |
| 14 | 平成 29 年<br>5 月 18 日 | 介護レク さあ連覇だ                    | 北日本新聞   | 社会福祉専攻卒業生が「レク 1 グラ<br>ンプリ」予選突破。                                                   |
| 15 | 平成 29 年<br>5 月 21 日 | 福祉と看護学科生 多職種<br>の連携学ぶ         | 北日本新聞   | 社会福祉学科と看護学科の合同授<br>業を実施。多職種連携について理解<br>を深めた。                                      |
| 16 | 平成 29 年<br>5 月 21 日 | 多職種連携学ぶ                       | 富山新聞    | 社会福祉学科と看護学科の合同授<br>業を実施。多職種連携について理解<br>を深めた。                                      |
| 17 | 平成 29 年<br>6 月 6 日  | 葉っぱ探して作品に                     | 北日本新聞   | 幼児教育学科 藤井徳子助教が提<br>案し採択された、射水市公募提案型<br>市民協働事業「森であそぼう！里山<br>さんぽ」の第 1 回が開催。         |
| 18 | 平成 29 年<br>6 月      | Let's おがワールド！                 | Kids Do | 幼児教育学科 小川耕平講師の連<br>載企画。ボールを使った運動遊びを<br>紹介。                                        |
| 19 | 平成 29 年<br>6 月 28 日 | 広告：絵本ランド 2017<br>手遊びや言葉遊び体験して | 富山新聞    | 広告：絵本ランド 2017（幼児教育<br>学科 2 年生 5 名が出演）                                             |
| 20 | 平成 29 年<br>6 月 29 日 | 連携協定を締結 野尻選手<br>も協力           | 北日本新聞   | NPO 法人笑顔スポーツ学園と「連<br>携協力に関する協定書」を締結。                                              |
| 21 | 平成 29 年<br>6 月 29 日 | 健康づくりで協定                      | 富山新聞    | NPO 法人笑顔スポーツ学園と「連<br>携協力に関する協定書」を締結。                                              |
| 22 | 平成 29 年<br>7 月 2 日  | 親子で物語に夢中<br>七夕で手遊び            | 富山新聞    | 絵本ランド 2017 で、幼児教育学科<br>2 年生 5 名が読み聞かせや手遊びを<br>披露した。                               |
| 23 | 平成 29 年<br>8 月 1 日  | お化け屋敷 怖がらせるぞ                  | 北日本新聞   | 下条川みこし祭りでボランティア<br>を担当する学生が、実行委員と打ち<br>合わせを行った。                                   |

| No | 掲載日                 | 記事タイトル                    | 報道機関名 | 内容                                                           |
|----|---------------------|---------------------------|-------|--------------------------------------------------------------|
| 24 | 平成 29 年<br>8 月 2 日  | 臨床美術体験 感性磨こう              | 北日本新聞 | 保育園で臨床美術教室を開催した。この教室は、幼児教育学科 岡野宏宣助教が提案し採択された、射水市公募提案型市民協働事業。 |
| 25 | 平成 29 年<br>8 月 2 日  | 新湊保育園児が臨床美術体験             | 富山新聞  | 保育園で臨床美術教室を開催した。この教室は、幼児教育学科 岡野宏宣助教が提案し採択された、射水市公募提案型市民協働事業。 |
| 26 | 平成 29 年<br>8 月 2 日  | 幼児体力向上 体操を考案              | 富山新聞  | 笑顔スポーツ学園が「パピプッペぽぽん体操」を考案。富山福祉短期大学で発表した。                      |
| 27 | 平成 29 年<br>8 月 4 日  | 動物の動きまね幼児の体力づくり           | 北日本新聞 | 笑顔スポーツ学園が「パピプッペぽぽん体操」を考案。富山福祉短期大学で発表した。                      |
| 28 | 平成 29 年<br>8 月 19 日 | 広告：第 8 回共創福祉研究会、オープンキャンパス | 北日本新聞 | 広告：第 8 回共創福祉研究会、オープンキャンパス                                    |
| 29 | 平成 29 年<br>9 月 2 日  | 看護師目指す学生が交流               | 北日本新聞 | 県看護教育機関連絡協議会が交流会を実施。各教育機関の看護学生が交流を深めた。                       |
| 30 | 平成 29 年<br>9 月 6 日  | アクティブラーニング学ぶ              | 北日本新聞 | 第 8 回共創福祉研究会にてアクティブラーニングについて講演。講師は溝上慎一氏。                     |
| 31 | 平成 29 年<br>9 月 7 日  | 認知症介護で連携協定                | 北日本新聞 | 医療法人社明寿会と「連携協力に関する協定書」を締結。                                   |
| 32 | 平成 29 年<br>9 月 7 日  | 認知症介護研究へ協定                | 富山新聞  | 医療法人社明寿会と「連携協力に関する協定書」を締結。                                   |
| 33 | 平成 29 年<br>9 月 16 日 | 広告：臨床美術セミナー、オープンキャンパス     | 北日本新聞 | 広告：臨床美術セミナー、オープンキャンパス                                        |
| 34 | 平成 29 年<br>9 月 16 日 | 福短祭始まる                    | 北日本新聞 | 「第 21 回福短祭」が始まった。翌日は「2017 ビビット祭」も開催。                         |
| 34 | 平成 29 年<br>9 月 16 日 | 福短祭始まる                    | 北日本新聞 | 「第 21 回福短祭」が始まった。翌日は「2017 ビビット祭」も開催。                         |
| 35 | 平成 29 年<br>9 月 16 日 | 模擬店にぎわう                   | 富山新聞  | 「第 21 回福短祭」が始まった。翌日は「2017 ビビット祭」も開催。                         |
| 36 | 平成 29 年<br>9 月 20 日 | 誰にも優しい観光マップへ              | 北日本新聞 | 社会福祉専攻 1 年生が誰にとっても優しい観光マップを作成する。作成に向け合掌造り集落を視察した。            |

| No | 掲載日                  | 記事タイトル                 | 報道機関名  | 内容                                                              |
|----|----------------------|------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 37 | 平成 29 年<br>9 月 20 日  | 五箇山観光 快適に              | 富山新聞   | 社会福祉専攻 1 年生が誰にとっても優しい観光マップ観光マップを作成する。作成に向け合掌造り集落を視察した。          |
| 38 | 平成 29 年<br>9 月 24 日  | 広告：「ケアニン」上映会、オープンキャンパス | 北日本新聞  | 広告：「ケアニン」上映会、オープンキャンパス                                          |
| 39 | 平成 29 年<br>10 月 3 日  | 園児と高齢者が共同制作楽しむ         | 富山新聞   | とやま臨床美術展が始まり、初日に高齢者と保育園年長児が共同で作品づくりを楽しんだ。                       |
| 40 | 平成 29 年<br>10 月 5 日  | 自由な発想で創作楽しむ            | 北日本新聞  | とやま臨床美術展が始まり、初日に高齢者と保育園年長児が共同で作品づくりを楽しんだ。                       |
| 41 | 平成 29 年<br>10 月 5 日  | 42 人 4 団体たたえ           | 富山新聞   | 射水市社会福祉大会にて、看護学科 炭谷靖子教授が夏野市長らと意見交換をおこなった。                       |
| 42 | 平成 29 年<br>10 月 15 日 | 園児ら自然と触れ合い             | 北日本新聞  | 立山青少年自然の家が「やんちゃキッズの大冒険」が開催。子どもたちは最終日に、幼児教育学科 2 年生が企画したゲームに参加する。 |
| 43 | 平成 29 年<br>10 月 19 日 | 新政権に望む一語               | 北陸中日新聞 | 衆議院選挙に向け有権者にインタビュー。看護学科 1 年生が掲載された。                             |
| 44 | 平成 29 年<br>10 月 22 日 | 車いすバスケットで交流            | 北日本新聞  | サークル「REAL」が施設利用者と車いすバスケットボールで交流した。                              |
| 45 | 平成 29 年<br>10 月 22 日 | ロコモ予防の重要性学ぶ            | 北日本新聞  | 高岡市福岡地域福祉活動委員会にて、看護学科 炭谷靖子教授と小出えり子講師がロコモ講座を実施。                  |
| 46 | 平成 29 年<br>10 月 25 日 | O B、後輩に講義              | 富山新聞   | 社会福祉専攻卒業生が特別講義。後輩たちにレクリエーションの大切さを伝えた。                           |
| 47 | 平成 29 年<br>10 月 26 日 | 仕事のやりがい伝える             | 北日本新聞  | 社会福祉専攻卒業生が特別講義。後輩たちにレクリエーションの大切さを伝えた。                           |
| 48 | 平成 29 年<br>10 月 27 日 | レク 1 王者が楽しむ介護伝授        | 北陸中日新聞 | 社会福祉専攻卒業生が特別講義。後輩たちにレクリエーションの大切さを伝えた。                           |

| No | 記載日                  | 記事タイトル            | 報道機関名 | 内容                                                   |
|----|----------------------|-------------------|-------|------------------------------------------------------|
| 49 | 平成 29 年<br>10 月 27 日 | 富山から投資を           | 北日本新聞 | 在日モンゴル臨時代理大使が県知事と懇談。本学にモンゴル人留学生がいることを紹介した。           |
| 50 | 平成 29 年<br>11 月 3 日  | 学長に炭谷氏            | 北日本新聞 | 学校法人浦山学園が人事を発表。富山福祉短期大学の学長に看護学科<br>炭谷靖子教授が就任。        |
| 51 | 平成 29 年<br>11 月 18 日 | 来社 炭谷靖子氏          | 北日本新聞 | 炭谷靖子学長が北日本新聞社を訪問。就任あいさつ。                             |
| 52 | 平成 29 年<br>11 月 23 日 | 富山福祉短大で研究発表       | 富山新聞  | 介護福祉研究発表会を開催。介護福祉専攻 2 年生が研究成果を報告した。                  |
| 53 | 平成 29 年<br>11 月 24 日 | 介護福祉の研究成果発表       | 北日本新聞 | 介護福祉研究発表会を開催。介護福祉専攻 2 年生が研究成果を報告した。                  |
| 54 | 平成 29 年<br>11 月 23 日 | 快適な観光地図 学生ら意見交換   | 富山新聞  | 観光マップ作成に向けワークショップを開催。障がい者の方々と地図に盛り込む情報を検討した。         |
| 55 | 平成 29 年<br>11 月 26 日 | 風車                | 北日本新聞 | 「富山コミュニティー論」の一環でダウン症のある人との交流会を開催。災害時の調理を体験した。        |
| 56 | 平成 29 年<br>11 月 30 日 | 18 歳成人 反対上回る      | 北日本新聞 | 成人年齢引き下げに関するアンケート結果に対し、社会福祉専攻竹ノ山圭二郎教授がコメント。          |
| 57 | 平成 29 年<br>12 月 2 日  | 大人の責任に漠然とした不安     | 北日本新聞 | 成人年齢引き下げに関するアンケート結果に対し、社会福祉専攻竹ノ山圭二郎教授がコメント。          |
| 58 | 平成 29 年<br>12 月 9 日  | 考えよう！成人年齢         | 北日本新聞 | 成人年齢引き下げに関するアンケート結果に対し、社会福祉専攻竹ノ山圭二郎教授がコメント。          |
| 59 | 平成 29 年<br>12 月 9 日  | 園児招き体操楽しむ         | 北日本新聞 | 幼児教育学科 1 年生が保育園児を招いてクリスマス会を開いた。                      |
| 60 | 平成 29 年<br>12 月 20 日 | 市の魅力伝える P R 動画を配信 | 北日本新聞 | 本学学生も参加する「学生のまちづくり推進会議」がシナリオを作成した、射水市の P R 動画が配信される。 |

| NO | 記載日                  | 記事タイトル               | 報道機関名 | 内容                                                             |
|----|----------------------|----------------------|-------|----------------------------------------------------------------|
| 61 | 平成 29 年<br>12 月 20 日 | 認知度向上へ P R 動画制作      | 富山新聞  | 本学学生も参加する「学生のまちづくり推進会議」がシナリオを作成した、射水市の P R 動画が配信される。           |
| 62 | 平成 29 年<br>12 月 21 日 | 高齢者と運動で交流            | 富山新聞  | 「富山コミュニティー論」の一環で、元気になるクリスマスパーティーを開催。「きららか射水 100 歳体操」に取組み、交流した。 |
| 62 | 平成 29 年<br>12 月 21 日 | 高齢者と運動で交流            | 富山新聞  | 「富山コミュニティー論」の一環で、元気になるクリスマスパーティーを開催。「きららか射水 100 歳体操」に取組み、交流した。 |
| 63 | 平成 29 年<br>12 月 22 日 | 高齢者招いて体操 ベトナム料理堪能    | 北日本新聞 | 「富山コミュニティー論」の一環で、元気になるクリスマスパーティーを開催。「きららか射水 100 歳体操」に取組み、交流した。 |
| 64 | 平成 29 年<br>12 月 23 日 | 広告：北陸で試験が受けられる入試日程特集 | 北日本新聞 | 広告：北陸で試験が受けられる入試日程特集                                           |
| 65 | 平成 29 年<br>12 月 30 日 | けさの人<br>在宅看護がライフワーク  | 北日本新聞 | 炭谷靖子学長の紹介。                                                     |
| 66 | 平成 30 年<br>1 月 5 日   | 広告：入学試験日程、直前入試説明会    | 北日本新聞 | 広告：入学試験日程、直前入試説明会                                              |
| 67 | 平成 30 年<br>1 月 29 日  | 学生まちづくり提案            | 北日本新聞 | 学生による政策提案審査会にて社会福祉専攻 1 年生が政策を提案。優秀賞を受賞した。                      |
| 68 | 平成 30 年<br>1 月 29 日  | 学生グループ政策提案           | 富山新聞  | 学生による政策提案審査会にて社会福祉専攻 1 年生が政策を提案。優秀賞を受賞した。                      |
| 69 | 平成 30 年<br>2 月 15 日  | 卒業記念ミュージカル見て         | 北日本新聞 | 幼児教育学科 2 年生が創作ミュージカル「塔の上のラプンツェル」の公開練習を行った。                     |
| 70 | 平成 30 年<br>2 月 15 日  | 卒業発表へ 練習に熱           | 富山新聞  | 幼児教育学科 2 年生が創作ミュージカル「塔の上のラプンツェル」の公開練習を行った。                     |
| 71 | 平成 30 年<br>2 月 22 日  | 闘病記文庫表彰式             | 北日本新聞 | 闘病記文庫感想文コンクール表彰式を行った。                                          |
| 72 | 平成 30 年<br>2 月 22 日  | 図書マラソンで表彰            | 富山新聞  | 闘病記文庫感想文コンクール表彰式を行った。                                          |
| 73 | 平成 30 年<br>2 月 25 日  | 学生と障がい者カレー作り交流       | 富山新聞  | 社会福祉学科 1 年が障がいのある方とカレー作りで交流を深めた。                               |

| No | 記載日                 | 記事タイトル           | 報道機関名  | 内容                                                               |
|----|---------------------|------------------|--------|------------------------------------------------------------------|
| 74 | 平成 30 年<br>2 月 28 日 | 地域の魅力や課題学生が研究し発表 | 北日本新聞  | 大学コンソーシアム富山<br>「地域フィールドワーク研究助成事業」成果発表会で社会福祉学科 1 年生がチームワーク賞に選ばれた。 |
| 75 | 平成 30 年<br>2 月 28 日 | 地域の魅力活用策学生が研究発表  | 富山新聞   | 大学コンソーシアム富山<br>「地域フィールドワーク研究助成事業」成果発表会で社会福祉学科 1 年生がチームワーク賞に選ばれた。 |
| 76 | 平成 30 年<br>3 月 6 日  | 100 歳体操広めよう      | 北日本新聞  | 「きときと 100 歳体操」グループ交流会にて炭谷学長が講評をのべた。                              |
| 77 | 平成 30 年<br>3 月 13 日 | けがなく納得の滑りを       | 読売新聞   | 平昌パラリンピック出場の川除選手に向け、恩師である小川講師がエールを送った。                           |
| 78 | 平成 30 年<br>3 月 19 日 | 川除 アンカーで力走       | 読売新聞   | 平昌パラリンピック出場の川除選手入賞に対し、恩師である小川講師がねぎらいの言葉を送った。                     |
| 79 | 平成 30 年<br>3 月 20 日 | 地域貢献誓う           | 北日本新聞  | 第 20 回卒業証書・学位記授与式で卒業生が「地域貢献」を誓った。                                |
| 80 | 平成 30 年<br>3 月 20 日 | 163 人が巣立つ        | 富山新聞   | 第 20 回卒業証書・学位記授与式で卒業生が「地域貢献」を誓った。                                |
| 81 | 平成 30 年<br>3 月 20 日 | 車いすバスケットで交流      | 北日本新聞  | 車いすバスケットサークルが、高岡市障がい者地域交流センターと交流をはかった。                           |
| 82 | 平成 30 年<br>3 月 4 日  | 性的少数者進まぬ理解       | 北陸中日新聞 | 性別適合手術について看護学科北濱教授がコメントをのべた。                                     |
| 83 | 平成 30 年<br>3 月 22 日 | 認知症に理解深める        | 北日本新聞  | 地域ふれあいサロン世話人研究会にて、宮城助教が講演を行った。                                   |
| 84 | 平成 30 年<br>3 月 30 日 | 介護福祉士試験留学生 3 人合格 | 北日本新聞  | 介護福祉専攻で学んだ外国人留学生 6 人のうち 3 人が 2017 年度の介護福祉士国家試験に合格                |

# 富山福祉短期大学 第20回卒業生 進路一覧

|                          |                       |                  |                |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|
|                          |                       |                  | (平成30年3月31日現在) |
| <b>社会福祉専攻</b>            |                       |                  |                |
| <b>○福祉関係</b>             |                       |                  |                |
| 社会福祉法人アルペン会              | NPO法人 ｵｰらいふ           | 医療法人社団長久会(石川)    |                |
| 社会福祉法人手をつなぐ高岡            | NPO法人 おらとこ            | NPO法人 エ房ジョ・イン    |                |
| 特別養護老人ホームだいご苑            | 放課後等デイサービスワンプレイス(三重)  | 介護療養型老人保健施設ちょうろく |                |
| 特別養護老人ホーム三寿苑             | 風乃里水戸田                |                  |                |
| 特別養護老人ホーム清泉園             | 児童デイサービスステップバイステップ    |                  |                |
| 特別養護老人ホームふるさと敬寿苑         | つくし工房                 |                  |                |
|                          |                       |                  | 計 16 名         |
| <b>○一般企業</b>             | <b>○進学3年次編入など</b>     | <b>○その他</b>      |                |
| アクシャルリテイリング(新潟)          | 仁愛大学                  |                  |                |
|                          | 日本福祉大学(通信課程)          |                  |                |
|                          |                       |                  |                |
| 計 1 名                    | 計 3 名                 | 計 名              |                |
| <b>介護福祉専攻</b>            |                       |                  |                |
| <b>○福祉関係</b>             |                       |                  |                |
| 社会福祉法人清水福祉会(大阪)          | 特別養護老人ホーム鳳鳴苑          |                  |                |
| 社会福祉法人アルペン会              | 特別養護老人ホーム砺波ふれあいの社     |                  |                |
| 社会福祉法人福寿会                | 特別養護老人ホーム梨雲苑          |                  |                |
| 社会福祉法人新湊福祉会              | 特別養護老人ホーム舟見寿楽苑        |                  |                |
| 社会福祉法人とやま虹の会             | 特別養護老人ホームすみれ苑         |                  |                |
| 社会福祉法人早川福祉会              | 七美こぶき苑                |                  |                |
| 特別養護老人ホーム射水万葉苑           | マース園                  |                  |                |
| 特別養護老人ホームオンパレーコ(兵庫)      | サンビエール病院(群馬)          |                  |                |
| 特別養護老人ホームはなさき苑           | 医療法人清水会(大阪)           |                  |                |
| 特別養護老人ホームくれは苑            | 特定医療法人五省会             |                  |                |
| 特別養護老人ホームだいご苑            | 池田リハビリテーション病院         |                  |                |
|                          |                       |                  | 計 24 名         |
| <b>○一般企業</b>             | <b>○進学3年次編入など</b>     | <b>○その他</b>      |                |
| 大阪屋ショップ                  | 日本福祉大学                |                  |                |
|                          |                       |                  |                |
| 計 1 名                    | 計 1 名                 | 計 名              |                |
| <b>看護学科</b>              |                       |                  |                |
| <b>○医療関係</b>             |                       |                  |                |
| 谷野呉山病院                   | 医療法人穂仁会(福井)           | 亀岡シミズ病院(京都)      |                |
| 西能病院                     | JCHO金沢病院(石川)          | 南砺市職員(看護)        |                |
| 真生会富山病院                  | 金沢こども医療福祉センター(石川)     |                  |                |
| 北陸中央病院                   | 医王病院(石川)              |                  |                |
| JCHO高岡ふしき病院              | 城北病院(石川)              |                  |                |
| 富山県済生会高岡病院               | 金沢西病院(石川)             |                  |                |
| 黒部市民病院                   | 浅ノ川総合病院(石川)           |                  |                |
| 市立砺波総合病院                 | 新潟県病院局(新潟)            |                  |                |
| 富山県済生会富山病院               | 木沢記念病院(岐阜)            |                  |                |
| 金沢医科大学水見市民病院             | 湘南厚木病院(神奈川)           |                  |                |
| 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター | 横浜市南部病院(神奈川)          |                  |                |
| 富山県厚生連高岡病院               | 三宿病院(東京)              |                  |                |
| 富山県立中央病院                 | 東京臨海病院(東京)            |                  |                |
| 射水市民病院                   | 青木病院(東京)              |                  |                |
| 高岡整志会病院                  | 東京歯科大学市川総合病院(千葉)      |                  |                |
| 富山大学附属病院                 | 大阪母子医療センター(大阪)        |                  |                |
| 光ヶ丘病院                    | 協立総合病院(愛知)            |                  |                |
|                          |                       |                  | 計 58 名         |
| <b>○一般企業</b>             | <b>○進学3年次編入など</b>     | <b>○その他</b>      |                |
|                          | 新潟大学看護教諭特別別科          |                  |                |
|                          | 富山県立総合衛生学院            |                  |                |
| 計 名                      | 計 2 名                 | 計 名              |                |
| <b>幼児教育学科</b>            |                       |                  |                |
| <b>○福祉関係</b>             |                       |                  |                |
| 社会福祉法人魚津保育会              | 幼保連携型認定こども園かたかご幼稚園    | 特定非営利活動法人ひまわりの花  |                |
| 社会福祉法人坂ノ下福祉会 能町保育園       | 幼保連携型認定こども園青い鳥保育園     | わらび学園            |                |
| 社会福祉法人みつば福祉会 みつば保育園      | 幼保連携型認定こども園坂ノ下保育園     | 魚津市職員(保育士)       |                |
| 社会福祉法人喜志麻児童福祉会 喜志麻保育園    | 幼保連携型認定こども園吉島保育園      | 富山市職員(保育士)       |                |
| 社会福祉法人たかおか新生会            | 幼保連携型認定こども園まつわか保育園    | 黒部市職員(保育士・臨時)    |                |
| 社会福祉法人たかおか万葉福祉会          | 幼保連携型認定こども園ふたばこども園    | 入善町職員(保育士・臨時)    |                |
| 社会福祉法人わかば福祉会             | 幼保連携型認定こども園天神保育園      | 射水市職員(保育士・臨時)    |                |
| 社会福祉法人杉の子保育園 杉の子保育園      | 幼保連携型認定こども園福光青葉幼稚園    | 高岡保育園(パート)       |                |
| 社会福祉法人射水福祉会いみず苑          | 幼保連携型認定こども園さみどり認定こども園 |                  |                |
| 社会福祉法人上小泉保育園 上小泉保育園      | 幼保連携型認定こども園ガンバ村保育園    |                  |                |
| 社会福祉法人速川福祉協会 速川保育園       | ひかり幼稚園                |                  |                |
| 社会福祉法人ジェイエイ氷見みどり会 上庄保育園  | 認定こども園福岡幼稚園           |                  |                |
| 社会福祉法人宇奈月福祉会 うらやま保育園     | むつみこども園               |                  |                |
| 株式会社ニチ学院弓庄保育所            | 第三あおい幼稚園              |                  |                |
|                          |                       |                  | 計 48 名         |
| <b>○一般企業</b>             | <b>○進学3年次編入など</b>     | <b>○その他</b>      |                |
| となみ野農業協同組合               | 姫路大学                  |                  |                |
|                          |                       |                  |                |
| 計 1 名                    | 計 1 名                 | 計 名              |                |
|                          |                       |                  |                |
| ○卒業予定者数                  | 163                   | 順不同です            |                |
| ○就職・進学希望者数               | 156                   |                  |                |
| ○就職・進学者数                 | 153                   |                  |                |
| 内定率                      | 98.1%                 |                  |                |

## (1)平成 29 年度学生募集活動の結果としての平成 30 年度入学生数

平成 30 年度入学定員 260 名に対して入学生数 155 名（定員充足率は 59.6%）また、重点目標に掲げる募集目標 246 名に対して 155 名（63.0%）となった。

対目標の 59.6%の理由については今年度の募集活動について、高校生の進路決定の早期化に対応できず、入学対象者の早期接触と抱え込みができなかった。また、母集団は例年より多かったものの、母集団に対する当校の魅力の発信、拡散、定着ができなかったことや、最近の高校生の傾向（1回で満足する、1回で理解する、1回で勉強に対する興味・意欲を掻き立てられる、1回で当校に決めた！等）に対応できずオープンキャンパス・学校説明会参加増、結果、出願増につなげることができなかったと思われる。具体的な要因は下記のように分析。

- ・平成 30 年度の入学者数の減少については 18 才人口の減少に加え、経年にわたる専門学校希望者の減少、私立高校を中心とした就職希望者の増加、大学進学増加も外的なひとつの要因となった。高校生は、進路選択する上で、大学・短大・他専門学校等と比較として当校のオープンキャンパス・学校説明会等に参加している事実がある以上、選択肢のひとつになっていることは明らかであるが、十分に参加生徒を取り込むことができなかった。
- ・母集団を増やす取組みとして、Twitter や Instagram も実施。さらに、母体となる HP に記事を埋め込むことで HP の閲覧、そしてそこからの OC・学校説明会参加に努めたが、記事掲載の頻度が低い、OC 参加や入学の決め手になるような魅力的な内容（教育プログラム）、写真となっておらず当校の入学検討者をうまく取り込むことができなかった。
- ・学科別では、幼児教育学科の出願数が目標 20 名に対し 6 名となり、昨年度より－18 名（対目標－24 名／20.0%）、ホテル・ブライダル学科の出願数が目標 20 名に対し 5 名（昨年度より－7 名／41.6%、対目標－20 名／20.0%）や新学科「モバイルビジネス学科」においても目標 20 名に対し 11 名（対目標 55.0%）他、全学科的に出願数を引き下げたことが入学者減につながった。
- ・今年度からの取組みとして「育成型 AO 方式入学試験」を導入。高校生の“やりたい気持ち”に寄り添えるよう各学科で様々な教育プログラムを用意し、双方向に学習の進捗、成果を確認でき、4 月からの学びがスムーズにいくよう学生のフォローにも努めたが、十分にその点を広報できず、6 名の出願に留まった。
- ・「高校の先生方を対象とした学校説明会」を開催。これまでの定期的な高校訪問に加え OC・学校説明会の開催案内・誘致や出願の御礼等、タイミングをみての DM 発送を行い（合わせて進路未決定者への当校来校誘致）高校の先生方との関係強化、切れ目のないフォローに努めたが、当初想定した高校生への浸透ができなかった。
- ・富山市内への専門学校の進出が増加し、新築校舎を含めた教育環境が向上した他学と比較して、本校の学習環境が十分なものとして、入学希望者に認知されなかった。

以上のことを踏まえ、次年度は課題対応も含め、下記の活動に重点をおき、全学挙げて活動を推進する。

- ・オープンキャンパス参加者総数が少なく、結果出願者減、入学予定者減
- ・母集団数は一定数確保できているが、オープンキャンパス等の来校に繋がらなかった  
⇒ 母集団からのオープンキャンパス参加者増に向けた活動（SNS・DM/新規・リピーター）
- ・オープンキャンパス参加者からの出願に繋がらなかった  
⇒ オープンキャンパス改革（参加者からの出願増に向けた活動/イベントとしての開催）

- ⇒ オープンキャンパス不参加者からの出願増に向けた活動（AR・VR 等仕掛けづくり、SNS・DM）
- ・ 高校生の進路決定の早期化にうまく対応できなかった。
- ⇒ オープンキャンパス等の早期実施（3 月以降ほぼ毎月開催、7 月を来校のピークに）

#### 【次年度に向けた活動（新たな取組み）】

- ・ 学科別募集活動の推進へ
  - ⇒ 学科別情報発信（Line 等）、学科別活動（DM、Line を学科別に）
  - ⇒ 学科採算性を重視し、募集学科の再編
- ・ SNS・Web を活用した活動の更なる推進
  - ⇒ AR・VR 等学科の強みを活かした情報発信（モバイルビジネス学科の学科 PR も想定した訴求）
- ・ 学内進学者、社会人等入学への対応強化
  - 医療事務から診療情報管理士専攻
  - 日本語学科からインターナショナル他専門課程へ
  - ⇒ 8・9 月のオープンキャンパス実施、参加
- ・ 学生募集関連予算の活用見直し
  - ⇒ 紙から WEB へ、学校から学科へ、マスメディアの活用（広報予算の見直し）
- ・ 入試・奨学金制度改革
  - ⇒ 親子・兄弟奨学金制度、指定校推薦
- ・ 教育環境の更なる向上
  - ⇒ 特に劣化が進んでいる A 館校舎を耐震と合わせて、改修工事を実施予定

## (2)重点目標・活動計画を中心とした取り組み成果

### I 建学の精神と教育の効果

#### A 建学の精神

平成 29 年度においては、朝礼で適宜唱和し、その理解を深める等、全教職員が建学の精神、教育理念に基づいた学生の募集活動、人材育成活動及び業務の推進を行った。

学生については、Bit ハンドブックに建学の精神、教育理念、教育目的、教育方針、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを掲載し、新入生オリエンテーション、クラス活動において学生に内容を周知、理解させた。また学生マイページに教育理念、教育方針、ディプロマポリシーを掲載し、学生の年間個人目標を設定させる際に、学科の到達目標であるディプロマポリシーをもとに目標を設定させ、実績報告を行わせた。

学校外への周知手段として、建学の精神、教育理念、教育目的、教育方針、ディプロマポリシーを学校の Web ページと学校案内パンフレットに掲載し、企業関係者、高校関係者、高校生等に周知した。

職業実践専門課程の対象学科では、教育課程編成委員会において、ディプロマポリシー及びカリキュラムを業界関係者に提示して意見をもらった。

#### B 教育の効果

平成 29 年度は授業アンケートの検証と改善措置を実施した。平成 28 年度後期、平成 29 年度前期に実施した授業アンケートの結果を検証し、各質問に 3.0 未満（4.0 満点）の数値がついている科目を抽出した。平成 28 年度後期で 88 科目、平成 29 年度前期で 61 科目が抽出された。抽出した科目につ

いては、授業アンケートに記載されている「教員の振り返り」及び「教員の改善策」の内容を確認し、次年度改善が図る事が可能か検証を実施した。記載内容から判断出来ない場合は、担当教員にヒアリングを実施し、改善内容を一緒に検討した。2 期連続で改善が認められなかった場合は、担当教員の交替も視野に入れて改善を実施する予定である。

### C 自己点検・評価

財団法人短期大学基準協会の評価基準に沿って、富山情報ビジネス専門学校の平成 28 年度自己点検・評価報告書を作成した。本校の中期経営計画や重点目標・活動計画も、この基準に合わせて活動していることから、この報告書は平成 28 年度の本校の学校運営・教育活動の総括的な意味合いとなる。

報告書作成にあたり、自己点検・評価委員会を立ち上げ、箇所全体にその目的と評価基準について周知し作成した。

評価項目は、Ⅰ.建学の精神と教育の効果、Ⅱ.教育課程と学生支援、Ⅲ.教育資源と財的資源、Ⅳ.リーダーシップとガバナンス、の4項目と、選択的評価基準項目として、職業教育の取り組み、地域貢献の取り組み、の2項目について自己点検・評価を行った。

各項目とも「基準・テーマ・区分」のそれぞれの観点で点検をおこなった。課題については報告書全体で16項目の課題が挙げられた。今回の主な課題は以下の3点であった。

- ①授業アンケート結果の検証と改善措置の実施。
- ②学科毎のSWOT分析結果に基づく、学科改編案の策定。
- ③校舎修繕の計画的対応と将来の環境整備計画の策定。

これらの課題は、箇所内の全体会議で共有され、また今後の重点目標・活動計画へ反映する事でPDCAサイクルを実施している。また報告書をHPにて公開することで地域やステークホルダーに対しての情報発信を行っている。

これらの取り組みを継続的に行うことで、今、専修学校が求められている ①教育の質の改善、②社会に対する説明責任、③学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みの推進、をより効果的・発展的にやっていく。

## II 教育の課程と学生支援

### A 教育課程

平成28年度と同様、「知識」「意欲」「コミュニケーション能力」の3分野を向上させるための一般科目を設定した。

「知識」分野では、社会人常識とIT活用の2科目を設定した。社会人常識はビジネス能力検定を教材として、「顧客意識」「品質意識」「納期意識」「コスト意識」「協調意識」「目標意識」「時間意識」「改善意識」の8つの意識について学ぶ。IT活用では、ビジネス現場で必須である、「ワード」と「エクセル」の技術を学ぶ。

「意欲」分野では、グループワーク、ボランティアと読み・書き・そろばんの3科目を設定した。グループワークでは参加意欲を高めることを目標としている。ボランティアでは自主性を高めることを目標としている。読み・書き・そろばんでは、学生が誰でも挑戦できる文章能力検定、電卓検定を活用し、競争心を高めることを目標としている。

「コミュニケーション能力」分野では、集団ゲーム、音楽、ビジネスマナー、親学の4科目を設定した。集団ゲームでは、チームワークやリーダーシップを身に付ける。音楽では自己表現力を身に付

ける。ビジネスマナーでは対人関係に必要なルールを身に付ける。親学では家庭における人間関係の考え方を身に付ける。

平成28年度実施の状況から、「ビジネス知識論」、「ビジネス行動論」、「ビジネスマナー」の3科目、「グループワーク論」、「集団ゲーム」の2科目において、授業内容に重複する部分が見られたため、重複が見られた科目の担当者を共通化し、科目間の整合性を取った。

## B 学生支援

就職・進学における、本年度数値実績は以下のとおりとなった。

「知識の向上」「やる気の向上」「コミュニケーションの向上」を掲げている当校は入学前から積極的に学生とのかかわりをもつため、HP、SNS等による情報提供はもちろん在校生のサポートに基づいたオープンキャンパス、学校説明会等、年間を通して実施している。また入学前オリエンテーションを2日間かけて行い、学校生活がより円滑になるよう、丁寧な指導を行っている。

入学後においては学生マイページ等を活用し「夢の実現」をサポートするための目標設定、目標管理等を行い、ADが適宜対応している。事務的なサポートも学事課が業務改善を重ねつつ実施しており、学生に対するアンケート等で顧客満足度を調査し、フィードバックも行っている。資格取得については通常のカリキュラムに落とし込まれている。昨今、年毎に増加傾向にあるメンタル面の問題を抱える学生への対応についても、カウンセラーの活用をしている。新入生歓迎会や学園祭など学生会を中心とした活動にも教員が積極的なサポートを常に行っている。

また教員の授業の質向上を目指し、授業アンケートを年二回実施している。学生生活満足度アンケートを実施し、学生支援体制や学校施設等について、学生の意見を収集した。次年度に結果の分析を行い、優先度に応じた対応を行う。

就職・進学における、本年度数値実績は以下のとおりとなった。

卒業生 : 196 名 (専門 145、日本語 51)

内就職希望者 : 129 名

内進学希望者 : 61 名 (専門 14、日本語 47)

合計 190 名

内就職先決定者 : 128 名/129 名内定率 99.2% (目標対比 : 99.2% 昨年対比 : 99.2%)

内進学先決定者 : 61 名/61 名進学率 100.0% (専門 14、日本語 47)

合計 : 189 名/190 名 99.5% → 就職先・進学先決定率

## 教育資源と財的資源

### A 人的資源

ホテル・ブライダル学科において、文部科学省の委託研究事業を通して、学科の専門分野における研究と人材育成をおこなった。また、この事業成果である留学プログラムをフィリピンのラサール・セントベニール大学にて実施した。当校ホテル・ブライダル学科1年生11名と、提携校2校(岩手県、愛媛県)から参加の6名をあわせた計17名が、4ヶ月間フィリピンで、現代社会のニーズに合致した教育プログラムを受講した。この留学プログラムに際し、学生の学習成果とともに、学校と担当教員に留学に伴う手続きや学生指導手法の蓄積が得られた。

職業実践専門課程に認定されている高度情報システム学科、情報システム学科、幼児教育学科、デジタルメディア学科、ホテル・ブライダル学科、医療事務学科では、定期的に教育課程編成委員会を

開催し、各学科における人材育成の方向性と、輩出する人材像について、関わる業界や社会ニーズと合致しているか否かを照らし合わせている。これにより教育の質を高めていく基盤づくり、より実践的で具体的な教育活動に近づけている。

また、教員の能力・資質向上をめざし、職業実践専門課程の規定に則り、専門分野と教育一般の両面における能力向上のための研修計画の提示と、実績確認をおこなった。学内においても、教務部内でFD研修を実施し、教員相互の事前ミーティング、互見授業、実施後のレビューまでを体系的に実施し、教務技術向上の取組をより発展的におこなった。

事務職員においては、各種研究会主催の研修会への参加や学生生活調査の実施等をもとに、その業務能力向上と業務成果の質向上のため取組をおこなった。

学校関係者評価委員会においては、教育活動と教育環境全般について客観的に評価し、学校の方向性と付帯環境について話し合い、委員それぞれの立場で学校と関わりながらより質の高い人材育成を実現するため、意見交換する場を持つことができている。

## B 物的資源

緊急度・利便性を考慮し、下記の調査・整備・補修等を実施した。

- ① USP 新築
- ② A 館（東棟）の耐震改修計画立案
- ③ A 館 3 階 4 階 5 階の空調更新
- ④ A 館火災報知機更新
- ⑤ A 館防火水槽更新
- ⑥ B 館壁修繕
- ⑦ B 館床修繕
- ⑧ B ホール視聴覚機器更新
- ⑨ A 館 C 館間通路整備

## C 技術的資源をはじめとするその他教育資源

HP作成用ソフトの購入と、コンピュータ実習用のノートパソコンを購入した。また、平成 30 年度開設のモバイルビジネス学科用に、iPad、ドローン、360 度カメラ、VR グラスを購入した。

学生に対しては専門課程全学科の入学生に対し、情報技術の向上のため「コンピュータスタートブック」を作成し、学生に配布・説明した。実習室・教室設置の教育機器は、常に授業運営に支障の無いよう、コンピュータ担当教員が維持管理をおこなった。

## D 財的資源

（財的資源については、事業報告に概要を記載する）

# IV リーダーシップとガバナンス

## A 学校法人の管理運営体制

理事会については、浦山学園寄附行為に従い学校法人における最高意思決定機関として適切に運営されている。専門学校においては、学校法人としての機関決定である理事会承認・決議事項を運営会議と関連付け、PDCAサイクルの確立を図った。さらに、情報公開については、学校法人の高い公共性と社会的説明責任を鑑み、法定の情報公開（閲覧）を行っていると同時に、事業報告や教育情報についてもHP上で積極的に公開をしている。

## B 専門学校の教学運営体制

専門学校運営会議において、審議が円滑に進むよう方針管理を行った上で、諸課題への対応を行うとともに、機関決定事項について校内関係部署での実施を徹底させている。運営会議その他各種委員会の議事録は整備されている。教育理念に基づく教育活動が推進されるように方針管理を一層明確にし、学習効果及び三つの方針に対する認識を持って各学科が運営されるように適切な手立てを講じる必要がある。それらの手立てについて、自己点検・評価活動において具体的な振返りが行えるようにリーダーシップを発揮する必要がある。

## C ガバナンス

経営改善計画（平成 28 年度～平成 32 年度）にそって平成 29 年度経営基本方針、事業計画（重点目標・活動計画）および予算を策定している。経営基本方針は前年度 12 月、事業計画（重点目標・活動計画）、および予算については平成 28 年 3 月に理事会にてそれぞれ審議され、関係部門の意向を集約し、適切な時期に決定している。

## V その他（選択的評価基準の取組み）

設置学科のうち 7 学科において職業実践専門課程の認定を受けており、高等教育における職業実践的な教育に特化した取り組みを行っており、企業との密接な連携により、最新の実務の知識を身に付けられるよう教育課程を編成している。より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組めるような実施体制が確立している。

### (3)その他の活動プログラム（社会人教育事業）

#### ①職業教育の日に関する事業

富山県専修各種学校連合会の事業の一環として、小中学生を対象に「夏休み職業体験講座」8 講座を開講し 195 名の小中高生、107 名の保護者が参加した。

また、「ビビット祭」（学園祭）では、「お仕事チャレンジ 2017」と題して、各学科において学生が主体となり小中学生を対象に 11 講座を開講し、67 名の小中学生、47 名の保護者が参加した。

#### ②TAC事業（収支差額：6,144 千円（対前年：59% 対目標：60%）

社会人の資格取得意欲の低下や試験科目の変更により、昨年度実績・今年度目標共に大きく下回る結果となった。

今後の課題は、まずは主講座である公務員講座・社労士講座の受講生獲得へのアプローチ方法の検討とその他講座の開拓である。

また、公務員講座に重点を置くことで、通学生の対応にスタッフが専任する必要が出ており、こちらも現状の体制における課題である。広報的には、書店パンフレット・新聞等での告知・県内企業宛のDM、SNSなどを行っているが、来校者へのアンケートを見る限りインターネットを見ての来校者が多数を占める中でどのようなツールを使って市場を広げていくか検討が必要である。

#### (4) 新聞記事等報道された資料

| No | 掲載先    | 掲載日        | 記事タイトル                                | 記事のポイント                                     |
|----|--------|------------|---------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1  | 北日本新聞  | 平成29年4月1日  | 富山福祉短大学長に川目氏<br>「ビジネス」が喜多氏            | 浦山学園人事異動（学長、校長）                             |
|    | 富山新聞   | 平成29年4月1日  | 富山福祉短大学長に川目氏<br>情報ビジネス専門学校<br>新校長に喜多氏 | 〃                                           |
|    | 北陸中日新聞 | 平成29年4月1日  | 富山福祉短大学長に川目氏                          | 〃                                           |
| 2  | 北日本新聞  | 平成29年4月9日  | 210人が夢へ第一歩                            | 本校入学式                                       |
|    | 富山新聞   | 平成29年4月9日  | 意欲を持って挑戦<br>富山情報ビジネス専門学校              | 本校入学式                                       |
| 3  | 北日本新聞  | 平成29年4月11日 | あいさつ                                  | 北日本新聞社で<br>就任あいさつ（川<br>目学長、喜多校<br>長）        |
| 4  | 富山新聞   | 平成29年4月12日 | あいさつ                                  | 富山新聞社で就<br>任あいさつ                            |
| 5  | 北日本新聞  | 平成29年5月18日 | 魚津の金太郎温泉<br>中国人社員2人奮闘                 | 日本語学科<br>卒業生情報                              |
| 6  | 北日本新聞  | 平成29年7月19日 | 電卓競技で団体V                              | 全経電卓大会優<br>勝                                |
|    | 富山新聞   | 平成29年7月19日 | 電卓競技大会でV                              | 〃                                           |
| 7  | 北日本新聞  | 平成29年7月22日 | ホテル経営を学ぶ比への留學<br>生激励                  | ホテル・プライダ<br>ル学科留學壮行<br>会 & 全経電卓全<br>国大会の壮行会 |
|    | 富山新聞   | 平成29年7月22日 | フィリピン留學へ意欲                            | 〃                                           |
| 8  | 北日本新聞  | 平成29年7月25日 | カジダンやイクメン理解                           | 当校にて出前講<br>座                                |
| 9  | 北日本新聞  | 平成29年8月6日  | 接客業に理解深める                             | OCにてフレアバ<br>ーテンディング<br>披露                   |
| 10 | 富山新聞   | 平成29年8月25日 | 生徒が学校周辺清掃                             | ボランティア論<br>にて地域清掃                           |
| 11 | 北日本新聞  | 平成29年10月5日 | 学科新設で意見交わす                            | I T系教育課程<br>編成委員会                           |

|    |       |             |                        |                                       |
|----|-------|-------------|------------------------|---------------------------------------|
| 12 | 北日本新聞 | 平成29年10月15日 | アジアから留学生15人            | 日本語学科入学式                              |
|    | 富山新聞  | 平成29年10月14日 | 日本語学科に15人              | 〃                                     |
| 13 | 北日本新聞 | 平成29年10月18日 | 新校舎U S P 起工            | U S P 起工式                             |
|    | 富山新聞  | 平成29年10月18日 | 地域解決課題の拠点に             | 〃                                     |
| 14 | 富山新聞  | 平成29年12月12日 | 就職活動に向けた準備             | 就職集会                                  |
| 15 | 北日本新聞 | 平成30年1月16日  | フィリピンに4か月留学 英語力確実にアップ  | ホテル・ブライダル学科フィリピン留学報告会                 |
|    | 富山新聞  | 平成30年1月16日  | フィリピン留学の成果を11人が報告      | 〃                                     |
| 16 | 北日本新聞 | 平成30年1月20日  | ウェディングスペシャリスト2年生に資格証明書 | ホテル・ブライダル学科<br>W B W ウェディングスペシャリスト表彰式 |
|    | 富山新聞  | 平成30年1月20日  | 11人に結婚式の国際資格授与         | 〃                                     |
| 17 | 北日本新聞 | 平成30年1月21日  | 専門学校生企画の結婚式            | ホテル・ブライダル学科ブライダルストーリー                 |
|    | 富山新聞  | 平成30年1月21日  | 生徒が演出、結婚式              | 〃                                     |
| 18 | 北日本新聞 | 平成30年1月28日  | 日本語の学習成果発表             | 日本語学科 卒業成果発表会 & 国際交流会                 |
|    | 富山新聞  | 平成30年1月27日  | 留学生が成果発表会              | 〃                                     |
| 19 | 北日本新聞 | 平成30年2月4日   | 学びの集大成                 | H29年度卒業成果発表会                          |
| 20 | 北日本新聞 | 平成30年2月10日  | 人材育成の成果報告会             | ホテル・ブライダル学科文科省                        |
| 21 | 北日本新聞 | 平成30年3月11日  | 11学科196人巣立つ            | H29年度卒業式                              |
|    | 富山新聞  | 平成30年3月11日  | 11学科196人巣立つ            | 〃                                     |

(5) 卒業生進路一覧 資料

富山情報ビジネス専門学校 第49回卒業生 進路(内定先)一覧

平成30年3月31日現在

【就職】※同一企業に複数内定先有

高度情報システム学科

|                   |                         |            |
|-------------------|-------------------------|------------|
| 北陸コンピュータ・サービス株式会社 | 株式会社ユー・エス・イービジネスソリューション | 株式会社北陸ソフタス |
| 株式会社スカイ           | 株式会社イカダ電設               | 株式会社アーキテック |
| 株式会社宇佐美鮎油         | 株式会社エフテック               | 株式会社エイジェック |

情報システム学科

|                  |              |                    |
|------------------|--------------|--------------------|
| 北電情報システムサービス株式会社 | 株式会社高志インテック  | 株式会社ジョインフォシステム     |
| 株式会社ユーコム         | AWS株式会社      | 株式会社北陸ソフタス         |
| 株式会社ブレインファクトリー   | 株式会社アルゴ      | 成和システムエンジニアリング株式会社 |
| 日本ソフテック株式会社      | 朝日印刷株式会社     | 株式会社アスプロコミュニケーションズ |
| 株式会社ミヤモリ         | 株式会社三和製作所    | 株式会社神通技研           |
| 株式会社三和製玉         | 東洋ガスメーター株式会社 | 株式会社旭東機械製作所        |
| イワイ株式会社          | 株式会社エイジェック   |                    |

幼児教育学科

|                             |                        |                   |
|-----------------------------|------------------------|-------------------|
| 社会福祉法人富山城南会                 | 社会福祉法人高原福祉会            | 社会福祉法人市野瀬福祉会      |
| 社会福祉法人わかば福祉会 わかば保育園         | 社会福祉法人相幸福祉会            | 学校法人全人学園新庄幼稚園     |
| 社会福祉法人市野瀬福祉会                | 社会福祉法人あおぞらこども福祉会みかど保育園 | 学校福祉法人鷹寺学園太閤山あおい園 |
| 放課後等デイサービス事業所さくらんぼ 株式会社LEAT | 社会福祉法人 浦山学園福祉会         |                   |

デジタルメディア学科

|                         |                    |               |
|-------------------------|--------------------|---------------|
| 株式会社アイドマーケティングコミュニケーション | 富山スガキ株式会社          | 株式会社キャンバス     |
| 株式会社ミュージッククラブ           | 株式会社アスプロコミュニケーションズ | 昭北ラミネート工業株式会社 |
| 株式会社プレステージ・インターナショナル    | 株式会社シンコー           | 株式会社大阪屋ショップ   |
| あまがいの歯科医院               |                    |               |

インターネットビジネス学科 Webコース

|                    |              |          |
|--------------------|--------------|----------|
| 米原商事株式会社           | 株式会社丸八       | 株式会社ユニテ  |
| 株式会社アスプロコミュニケーションズ | 富山ヤクルト販売株式会社 | 三秀工業株式会社 |
| 三幸株式会社             | 株式会社イカダ電設    | 株式会社三和製玉 |

インターネットビジネス学科 システム運用コース

|          |            |              |
|----------|------------|--------------|
| 株式会社ユーコム | 株式会社ホクタテ   | 北陸電気システム株式会社 |
| 前田組      | 株式会社エイジェック |              |

ホテル・ブライダル学科

|            |                                 |                                |
|------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 株式会社星野リゾート | 株式会社かつ美 ヴィラ・グランディス ウェディングリゾート富山 | 株式会社ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル富山 |
| 株式会社百楽荘    | 株式会社ベルコ アール・ベル・アンジェ富山           | 株式会社富山エクセルホテル東急                |
| オークス株式会社   | アクアフィールド ラ・ルージュ                 |                                |

税理士・会計学科

|            |          |             |
|------------|----------|-------------|
| 山岡石材工業株式会社 | 米田木材株式会社 | 株式会社メガネのハラダ |
| 株式会社三和製玉   | 本家 歩寿司   |             |

## 医療事務学科

|                          |                       |                            |
|--------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 医療法人社団喜生会 木戸クリニック        | 医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院 | 医療法人社団誠林会 ほんごうハヤシ整形外科クリニック |
| たんぼ薬局株式会社                | 株式会社コム・メディカルとやま調剤薬局   | チューリップ調剤西中薬局               |
| 社会福祉法人あかね会 特別養護老人ホームあさひ苑 | 有限会社ミニワールドあい丸の内薬局     | 津田沼スマイル歯科クリニック             |
| 医療法人社団中央歯科医院             | 佐野内科クリニック             | あいおい歯科イオンモール高岡医院           |
| おおがくクリニック                | わだ小児科クリニック            | いとう整形外科クリニック               |
|                          |                       |                            |

## 診療情報管理士専攻学科

|                |                             |                         |
|----------------|-----------------------------|-------------------------|
| 富山県立中央病院       | 医療法人真生会真生会 富山病院             | 富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院     |
| 公益社団法人富山市医師会   | 医療法人社団博洋会 藤井脳神経外科病院         | 医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院   |
| 国立大学法人富山大学附属病院 | 医療法人社団アルペン会 アルペンリハビリテーション病院 | 医療法人社団一志会 池田リハビリテーション病院 |
| 藤の木病院          | 特定医療法人財団五省会 西能病院            | 株式会社ニチイ学館               |

## インターナショナルビジネス学科

|              |                                 |                 |
|--------------|---------------------------------|-----------------|
| 株式会社宮本工業所    | ブリーズベイオペレーション3号株式会社 ホテルグランテラス富山 | 株式会社富山エクセルホテル東急 |
| ジョブスクールさくらだに |                                 |                 |

## 日本語学科

|           |  |  |
|-----------|--|--|
| 北陸ミート株式会社 |  |  |
|-----------|--|--|

## 【進学】※同一校に複数合格先有

## 医療事務学科

|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
| 富山情報ビジネス専門学校 診療情報管理士専攻学科 |  |  |
|--------------------------|--|--|

## 日本語学科

|                |                |                              |
|----------------|----------------|------------------------------|
| 富山大学           | 横浜国立大学         | 富山福祉短期大学                     |
| 中央情報大学校        | 専門学校穴吹工科カレッジ   | 上越公務員・情報ビジネス専門学校             |
| 京都YMCA国際福祉専門学校 | 国際ことば学院外国語専門学校 | 帯広コア専門学校                     |
| 日本理工情報専門学校     | 若狭医療福祉専門学校     | 富山医療福祉専門学校                   |
| 名古屋経営会計専門学校    | YIC看護福祉専門学校    | 富山情報ビジネス専門学校 インターナショナルビジネス学科 |

|            |       |
|------------|-------|
| ○卒業生数      | 196   |
| ○就職・進学希望者数 | 190   |
| ○就職・進学決定者数 | 189   |
| ○進路決定率     | 99.5% |

※『進路決定率』…就職・進学希望者に対する就職内定者と進学先決定者の合計の割合で算出

## (1) 平成29年度学生募集結果としての平成30年度入学生数

平成30年度の入学生数は5月1日現在で53名である。H30年度学生募集につなげるため、教務活動改革（学力増進のためのプログラム改革）、広報活動改革を積極的に推進し、在籍生の学力の向上に例年にも増す成果がみられたが、本校の学習環境への認知度の著しい向上にはつながっていない。各活動に改善を加えるとともに、新規事業にも積極的に取り組んでいきたい。

### 1 教務活動改革

- ①学力セグメントを導入し、セグメントごとに特徴ある学習プログラムを整備した。
- ②レベル別授業における1学期授業回数の増加と、基礎レベル授業の指導改善（授業内での復習・サポート復習の導入）の継続
- ③学習指導カルテを生徒全員に用意し、指導における個別対応を向上させた。
- ④到達度確認テスト・外部模試結果に基づく生徒への学習改善指導を強化した。（チューター・教科担当）
- ⑤学習ノートを全員に導入した。（春期・1学期・夏期・2学期・冬期）

### 2 広報活動の改善

- ①高校訪問：高校別に募集目標を設定し、高校別に年間を通じた計画性のある活動を行った。
- ②HPの更新：更新時期・内容を再検討した。
- ③公開講座：現役生に本校に対する認知度を向上させた。

新年度はH29年度の教育活動の反省に立ち、本校の特徴である「学び方改革」実現のプログラムのさらなる改革と「学力セグメント」に基づく指導体制の再編により、学生一人一人の教育環境を改善し、地域の責任ある教育機関として、学生の学力向上・人的資質の向上に資する教育活動を実践していきたい。

## (2) 重点目標・活動計画を中心とした取り組み成果

### I 建学の精神と教育の効果

#### 1) 教育目的

本校は、高等学校在籍者・高等学校卒業者およびそれと同等以上の資格があると認められ大学受験希望者に対して、社会性・創造性豊かな人間形成を基本とした進学指導を行う。

#### 2) 教育方針

本校は、〈知識・意欲・コミュニケーション〉の充実を目的とした指導、すなわち、

- ①知識を最大限に高め、広める、最高の学習環境を提供する。
- ②明確な目標と信頼できる方法論を提示し、常に生徒の学習意欲を啓発する。
- ③生徒・教職員間の潤沢なコミュニケーションを確立し、共に目標を完遂する。

以上の指導方針に基づき、上記の教育目的の達成を図る

#### 3) 進学

主な進学先：

国公立大・大学校： 富山大学（医・医）・名古屋大学・北海道大学・千葉大学・金沢大学・東京学芸大学・気象大学校 他

私立大学： 金沢医科大学（医・医）・国際医療福祉大学（医・医）・早稲田大学・同志社大学・明治大学・立教大学・東京理科大学・立命館大学・関西大学・多摩美術大学 他

## II 教育課程と学生支援

本校は、教育目標実現のため、総合コース・個別指導コース・サテライン総合コースとも、個別対応を基本とした教育効果向上プログラムに沿って、教育体制を整備している。

### 1) 総合コース・レベル別授業について

- ・生徒の在籍希望コース・クラス、及び、学力診断テスト結果に基づき、各教科を4～2段階のレベル別授業を実施した。授業を通じての学力向上状況を定期的に図るため、従来の全国模試に加え、毎月、到達度確認テストを実施し、常に知識の定着度の確認を行い、不十分な生徒に対しては、個別指導による学力向上を図った。
- ・生徒対象アンケートを実施し、生徒の要望・問題点を箇所会議で検討し、担当講師へのアドバイス、生徒へのアドバイス・個別指導に反映させた。

### 2) 個別指導コースについて

- ・本校独自の取り組みである「個別指導コース」のカリキュラムにより、一人ひとりの学力・志望校・希望学習形態を確認し、①レベル別授業に付加する個別指導、②生徒の課題に対する個別指導、③志望校に対する個別指導を実施した。
- ・毎週実施するコーチング（学習状況の確認・改善指導）により、年間を通じ偏りのない学習に取り組ませた。  
コーチングは、とかくストレスの多い生徒の精神上的サポートとしても大いに役立った。

### 3) 各種アンケート・教科会議

- ・生徒対象授業アンケートを実施し、集計結果を全講師に開示し、生徒の要望に関しては、改善に向けたアドバイスを行なった。同時に講師対象アンケートを実施し、講師の抱える課題・意識を把握し、個別に課題解決に向けた検討を行った。
- ・教科会議(年5回)を実施し、生徒の成績データをもとにレベル別授業・個別指導の改善を図った。

### 4) 基本的学習姿勢および意欲の向上、基本的生活習慣の徹底

あいさつの励行をホームルームや掲示等を通して、生徒の意識を高めるとともに、教職員自らが実践した。

また、本校のよりよい学習環境の提供と生徒の積極的活用を推進するために、教職員による校内巡回を徹底し、整理整頓、現状把握、問題発見と早期解決に努めた。

## (3) 新聞記事等報道された資料

特になし

# 金沢中央予備校 平成29年度本科生 進路一覧

## 国公立文系コース

(平成30年3月31日現在)

| 国公立大学            | 私立大学                  | 専門学校その他      |
|------------------|-----------------------|--------------|
| 金沢大学(人間社会学域-法学類) | 大阪芸術大学(芸術学部-デザイン学科)   | 京都芸術デザイン専門学校 |
|                  | 神奈川大学(人間科学部-人間科学科)    |              |
|                  | 成安造形大学(芸術学部-芸術学科)     |              |
|                  | 多摩美術大学(美術学部-情報デザイン学科) |              |
|                  | 龍谷大学(文学部-臨床心理学科)      |              |
| 計1名              | 計5名                   | 計1名          |

## 国公立理系コース

| 国公立大学                 | 私立大学                    | 専門学校その他            |
|-----------------------|-------------------------|--------------------|
| 千葉大学(工学部-総合工学科)       | 千葉工業大学(先進工学部-生命科学科)     | 大原医療福祉・製菓&スポーツ専門学校 |
| 北海道大学(総合入試理系-物理重点選抜群) | 同志社大学(理工学部-化学システム創造工学科) |                    |
|                       | 福井工業大学(環境情報学部-環境・食品学科)  |                    |
|                       | 福井工業大学(工学部-機械工学科)       |                    |
|                       |                         |                    |
| 計2名                   | 計4名                     | 計1名                |

## 私立文系コース

| 国公立大学          | 私立大学              | 専門学校その他 |
|----------------|-------------------|---------|
| 石川県立看護大学(看護学部) | 大阪芸術大学(芸術学部-映像学科) |         |
|                | 金沢星稜大学(経済学部-経済学科) |         |
|                | 明治大学(商学部-商学科)     |         |
|                |                   |         |
| 計1名            | 計3名               | 計0名     |

## 私立理系コース

| 国公立大学 | 私立大学                | 専門学校その他 |
|-------|---------------------|---------|
|       | 金沢医科大学(医学部医学科)      |         |
|       | 金城大学(看護学部)          |         |
|       | 湘南工科大学(工学部-人間環境学科)  |         |
|       | 福山大学(生命工学部-海洋生物科学科) |         |
| 計0名   | 計4名                 | 計0名     |

## サテライン高卒生対象総合コース

| 国公立大学 | 私立大学 | 専門学校その他 |
|-------|------|---------|
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |
| 計0名   | 計0名  | 計0名     |

## 個別特訓コース

| 国公立大学                       | 私立大学                         | 専門学校その他      |
|-----------------------------|------------------------------|--------------|
| 青森公立大学(経営経済学部-経営学科)         | 大阪学院大学(経営学部-ホスピタリティ経営学科)     | 大原簿記法律観光専門学校 |
| 茨城大学(教育学部-養護教諭養成課程)         | 大阪体育大学(体育学部-健康・スポーツマネジメント学科) | 金沢学院短期大学     |
| 金沢大学(医薬保健学域-保健学類・放射線技術科学専攻) | 金沢学院大学(文学部-教育学科) 2名          | 富山短期大学       |
| 上越教育大学(学校教育学部-初等教育教員養成課程)   | 金沢工業大学(工学部-情報工学科)            |              |
| 東京学芸大学(教育学部-中等教員養成課程)       | 金沢星稜大学(経済学部-経営学科)            |              |
| 富山大学(医学部-医学科)               | 金沢星稜大学(経済学部-経済学科)            |              |
| 名古屋大学(理学部)                  | 金沢星稜大学(人間科学部-子ども学科)          |              |
| 新潟大学(教育学部-学校教員養成課程)         | 京都産業大学(経営学部)                 |              |
| 弘前大学(医学部-保健学科・放射線技術科学専攻)    | 日本体育大学(体育学部)                 |              |
| 広島市立大学(国際学部)                | 北陸大学(経済経営学部-マネジメント学科)        |              |
| 琉球大学(工学部-工学科)               | 北陸大学(薬学部-薬学科)                |              |
|                             | 立教大学(経済学部-経済学科)              |              |
|                             | 早稲田大学(政治経済学部-政治学科)           |              |
|                             | 龍谷大学(経営学部)                   |              |
| 計11名                        | 計15名                         | 計3名          |

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| ○卒業者数   | 77    | 五十音順です |
| ○進学希望者数 | 59    |        |
| ○進学者数   | 51    |        |
| 進学率     | 86.4% |        |

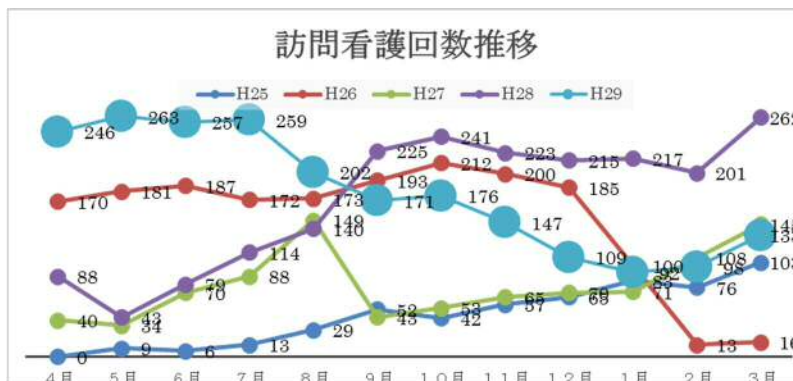
## (1) 平成29年度活動状況

- ① 平成25年度4月1日に開設後、平成29年度で5年目を迎えた。平成27年2月に実践の場と教育研究の場を統合した短期大学看護学科とのユニフィケーションを導入した。平成29年度は導入後3年目であったが、理事長より活動者を限定する旨の指示があり、教員では蘭、炭谷、小出の3人が活動した。今後は質向上のために教員との同行訪問を中心に活動を拡大したい。

- ② 平成29年度中の訪問回数は年度当初は順調に目標回数を達成していたが、従事者の退職があり利用者を他の事業所に受け入れてもらう措置を行った。しかし、2月、3月に新たなスタッフを迎え組織の再編を行い訪問回数は回復の傾向を見せている。

その他の収入として、デイサービスとの提携契約、定期巡回型訪問介護のモニタリングがあり、固定収入を得ている。

- ③ 地域との連携については、地域ケア会議への出席、訪問看護ステーション連絡協議会行事への参加等を行った。結果



訪問看護回数推移

| 年度  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| H25 | 0   | 9   | 6   | 13  | 29  | 52  | 42  | 57  | 65  | 83  | 76  | 103 | 535  |
| H26 | 170 | 181 | 187 | 172 | 173 | 193 | 212 | 200 | 185 | 100 | 13  | 16  | 1802 |
| H27 | 40  | 34  | 70  | 88  | 149 | 43  | 53  | 65  | 70  | 71  | 108 | 145 | 936  |
| H28 | 88  | 43  | 79  | 114 | 140 | 225 | 241 | 223 | 215 | 217 | 201 | 262 | 2048 |
| H29 | 246 | 263 | 257 | 259 | 202 | 171 | 176 | 147 | 109 | 92  | 98  | 133 | 2153 |

として会議出席機関からの依頼も増えてきている。また、連携先からの依頼やこちらからの提案で学生ボランティア等のコーディネートを行った。

- ④ 訪問看護ステーションのスタッフの教育については訪問看護ステーション会議を月1回開催し、情報交換、課題等について検討した。外部研修については訪問看護ステーション連絡協議会の研修等に参加する。富山県委託事業の認知症対応力向上研修会、摂食嚥下認定看護師課程の講義等計7コマの講師を蘭管理者が務めた。また、在宅医療機関を対象としたSNSを利用し、「あっさり在宅ネット」の運用を平成27年度から継続して実施している。

- ⑤ 教育研究への貢献という面においては、本学の学生実習を受け入れ、特に指導を要する学生の実習を中心に受け入れることで、教育効果も上がっている。

また、管理者が専門看護師（老人看護）の有資格者でもあることから富山県で実施している摂食嚥下認定看護師の育成事業にも関わっている。さらに、県内の療養型病院や近隣の介護事業所等からの現任教育への依頼もあった。

総括： 開設5年目で財務的な運営は安定してきた。地域への貢献活動とともにステーションの認知も進み、教員の協力体制と在宅医療への関心も高まってきている。しかし、本体の看護学科の教員の欠員、訪問看護ステーションのスタッフの退職があり、依然として課題は人員の確保と質の担保、ユニフィケーションの推進であり、そのために、スタッフの定着と働きやすい職場作りが最も重要な課題である。

#### 4. 理事会・評議員会の開催状況

##### 理 事 会

|    |           |          |
|----|-----------|----------|
|    | 理事        | 監事       |
| 定員 | 7名以上12名以内 | 2名以上3名以内 |
| 現員 | 8名        | 3名       |

( 現員数は平成29年5月1日現在 )

| 開催年月日       | 理事出席者数<br>(名) |           | 監事<br>の<br>出席<br>状況 | 主 な 議 案 内 容 |                                                                                                                                                                                 |
|-------------|---------------|-----------|---------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             | 出席<br>者数      | 委任状<br>出席 |                     |             |                                                                                                                                                                                 |
| 平成29年4月3日   | 7             | 1         | 3                   | 【審議事項】      | ① 理事長の選任について<br>② 理事長による監事の選任について<br>③ 専務理事の選任について<br>④ 理事長職務代理者の指名について                                                                                                         |
| 平成29年5月25日  | 6             | 2         | 3                   | 【報告事項】      | ① 平成29年度入学生及び在籍者数について<br>② 専門職大学制度について<br>③ 平成28年度業務監査報告及び平成29年度監査計画について                                                                                                        |
|             |               |           |                     | 【審議事項】      | ① 平成28年度事業報告及び決算について<br>② 常任理事会規程の改正について                                                                                                                                        |
| 平成29年9月22日  | 6             | 2         | 1                   | 【報告事項】      | ① 学園経営における財務分析状況について<br>② 監事研修会報告<br>③ 専門職大学(学園構造改革)の概要報告<br>④ 富山校土地・建物の活用検討について                                                                                                |
|             |               |           |                     | 【審議事項】      | ① 富山福祉短期大学学則変更について<br>② 富山情報ビジネス専門学校学則変更について<br>③ USP建築計画に伴う借入金および資金計画について<br>④ 寄付金「特定増進公益法人」「受配者指定寄付金」申請について<br>⑤ 富山福祉短期大学学長辞任に伴う選考委員会の設置並びに委員の選出について                          |
| 平成29年10月31日 | 4             | 3         | 1                   | 【審議事項】      | ① 富山福祉短期大学学長選考について<br>② 富山福祉短期大学学長交代に伴う理事の選任および評議員の推薦について<br>③ 常任理事の選任について                                                                                                      |
| 平成29年12月1日  | 6             | 2         | 1                   | 【報告事項】      | ① 評議員の選任について<br>② 平成30年度入学生の募集状況について<br>③ 平成29年度決算見通しについて<br>④ 監事監査報告について                                                                                                       |
|             |               |           |                     | 【審議事項】      | ① 財務担当理事の任命のついて<br>② 遊休不動産の取り扱いについて<br>③ 富山情報ビジネス専門学校耐震補強工事について<br>④ USP建築計画に伴う借入金および資金計画について<br>⑤ 平成30年度経営基本方針について                                                             |
| 平成30年3月23日  | 5             | 3         | 1                   | 【報告事項】      | ① 理事会・評議員会年間開催スケジュールについて<br>② 平成30年度入学生の募集状況について<br>③ 平成29年度卒業生の進路状況について<br>④ 遊休不動産(富山市奥田新町)について<br>⑤ 浦山学園の構造改革構想について<br>⑥ USP校舎建築の進捗状況について<br>⑦ 富山福祉短期大学教職課程再課程認定にともなう学則変更について |
|             |               |           |                     | 【審議事項】      | ① 平成30年度役員報酬について<br>② 平成30年度事業計画について<br>③ 平成30年度予算について                                                                                                                          |

# 評 議 員 会

|    |            |
|----|------------|
|    | 評議員        |
| 定員 | 15名以上25名以内 |
| 現員 | 17名        |

( 現員数は平成29年5月1日現在 )

| 開催年月日      | 評議員<br>出席者数<br>(名) |           | 監事<br>の<br>出席<br>状況 | 主 な 議 案 内 容 |                                                                                                                                                                                 |
|------------|--------------------|-----------|---------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | 出席<br>者数           | 委任状<br>出席 |                     |             |                                                                                                                                                                                 |
| 平成29年5月25日 | 12                 | 5         | 3                   | 【報告事項】      | ① 平成29年度入学生及び在籍者数について<br>② 専門職大学制度について<br>③ 平成28年度業務監査報告書及び平成29年度監査計画について<br>④ 平成28年度事業報告及び決算について<br>⑤ 常任理事会規程の改正について                                                           |
| 平成29年9月22日 | 14                 | 3         | 1                   | 【報告事項】      | ① 学園経営における財務分析状況について<br>② 監事研修会報告<br>③ 専門職大学(学園構造改革)の概要報告<br>④ 富山校土地・建物の活用検討について<br>⑤ 富山福祉短期大学学長辞任に伴う選考委員会の設置並びに委員の選出について                                                       |
|            |                    |           |                     | 【審議事項】      | ① 富山福祉短期大学学則変更について<br>② 富山情報ビジネス専門学校学則変更について<br>③ USP建築計画に伴う借入金および資金計画について<br>④ 寄付金「特定増進公益法人」「受配者指定寄付金」申請について                                                                   |
| 平成29年12月1日 | 11                 | 4         | 2                   | 【報告事項】      | ① 富山福祉短期大学学長選考結果について<br>② 平成30年度入学生の募集状況について<br>③ 平成29年度決算見通しについて<br>④ 監事監査報告について<br>⑤ 富山福祉短期大学学長交代に伴う理事の選任および評議員の推薦について                                                        |
|            |                    |           |                     | 【審議事項】      | ① 評議員の選任について<br>② 財務担当理事の任命について<br>③ 遊休不動産の取り扱いについて<br>④ 富山情報ビジネス専門学校耐震補強工事について<br>⑤ USP建築計画に伴う借入金および資金計画について<br>⑥ 平成30年度経営基本方針について                                             |
| 平成30年3月23日 | 11                 | 6         | 1                   | 【報告事項】      | ① 理事会・評議員会年間開催スケジュールについて<br>② 平成30年度入学生の募集状況について<br>③ 平成29年度卒業生の進路状況について<br>④ 遊休不動産(富山市奥田新町)について<br>⑤ 浦山学園の構造改革構想について<br>⑥ USP校舎建築の進捗状況について<br>⑦ 富山福祉短期大学教職課程再課程認定にともなう学則変更について |
|            |                    |           |                     | 【審議事項】      | ① 平成30年度役員報酬について<br>② 平成30年度事業計画について<br>③ 平成30年度予算について                                                                                                                          |

## 3 財務の概要

### 1 財務の概要

平成 29 年度の決算の概要については、主に事業活動収支計算書をもとに予算と比較して説明する。なお、予算比較は平成 29 年 3 月理事会承認の予算である。

また、後述からは、各帳票の概要に加え、過去 5 年間の経年比較や構成図を示しており参考としていただきたい。

#### <収入の部>

事業活動収入計は 997 百万円となり、予算と比較し 31 百万円の減収となった。

減収となった主な要因は生徒数の減少に伴う学生生徒等納付金と補助金の減収である。学生生徒等納付金は予算と比較し 14 百万円の減収で、内訳は金沢中央予備校の生徒数が予算より 10 名ほど少なく 10 百万円の減収となった。富山福祉短期大学訪問看護ステーションも予算比 6 百万円の減収となった。また、補助金も富山福祉短期大学の国庫補助金減収が主因となり予算と比較し 17 百万円の減収となった。一方で寄付金は予算比 8 百万円の増収となった。

少子化の影響からか学園全体の学生数が減少し、学園の主財源である学生生徒等納付金が減少している。入学者数の確保及び収容定員の充足、そして、学生生徒等納付金に頼らない外部資金（寄付金・補助金）の導入は依然として取り組むべき大きな課題である。

#### <支出の部>

事業活動支出計は 1,293 百万円となり、予算と比較し 178 百万円の減出となった。人件費は総額 599 百万円（予算 627 百万円）であり、例年、支出全体の約半分を占めている。

平成 29 年度は教育研究経費、管理経費ともに学園全体で経費節減に努めた結果、教育活動支出は予算に比較し 60 百万円減少した。教育研究経費は総額 304 百万円（前年度 318 百万円）、今後も教育研究経費を高めるよう努めていく。

#### <特別支出>

平成 29 年度は遊休資産であった旧、富山中央学院等を売却したことにより、特別支出 282 百万円を計上した。

#### <収支差額>

教育収支差額は△15 百万円（前年度△50 百万円）となり前年度より改善された。

経常収支差額は減収以上の経費削減に努めた結果、予算比 39 百万円のプラスとなった。

基本金組入前当年度収支差額は、旧、富山中央学院等を売却したため予算より 210 百万円悪化し△296 百万円となった。

翌年度繰越収支差額は、予算（△2,480 百万円）より 810 百万円改善され、△1,670 百万円となった。

## 2 資金収支計算書

平成 29 年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することにより、平成 29 年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金および預貯金）のてん末を表す。

### 資金収支計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

| 収入の部        |       | (単位：百万円) |       |   |     |
|-------------|-------|----------|-------|---|-----|
| 科目          | 予     | 算        | 決     | 算 | 差   |
| 学生生徒等納付金収入  | 824   |          | 810   |   | 14  |
| 手数料収入       | 12    |          | 10    |   | 2   |
| 寄付金収入       | 11    |          | 19    |   | -8  |
| 補助金収入       | 106   |          | 83    |   | 23  |
| 資産売却収入      |       |          | 19    |   | -19 |
| 付随事業・収益事業収入 | 66    |          | 60    |   | 7   |
| 雑収入         | 8     |          | 14    |   | -6  |
| 借入金等収入      | 450   |          | 450   |   |     |
| 前受金収入       | 280   |          | 246   |   | 34  |
| その他の収入      | 152   |          | 85    |   | 68  |
| 資金収入調整勘定    | -341  |          | -301  |   | -39 |
| 前年度繰越支払資金   | 983   |          | 994   |   |     |
| 収入の部 合計     | 2,553 |          | 2,489 |   | 64  |

#### 【補助金収入】

国庫補助金 78 百万円  
地方公共団体 3 百万円

#### 【付随事業・収益事業収入】

補助活動収入 23 百万円  
受託事業収入 19 百万円  
訪問看護収入 17 百万円

| 支出の部      |       | (単位：百万円) |       |   |      |
|-----------|-------|----------|-------|---|------|
| 科目        | 予     | 算        | 決     | 算 | 差    |
| 人件費支出     | 606   |          | 596   |   | 10   |
| 教育研究経費支出  | 214   |          | 206   |   | 8    |
| 管理経費支出    | 112   |          | 98    |   | 14   |
| 借入金等利息支出  | 5     |          | 1     |   | 4    |
| 借入金等返済支出  | 40    |          | 15    |   | 25   |
| 施設関係支出    | 504   |          | 437   |   | 67   |
| 設備関係支出    | 6     |          | 36    |   | -30  |
| その他の支出    | 143   |          | 57    |   | 86   |
| 資金支出調整勘定  | -52   |          | -240  |   | 188  |
| 翌年度繰越支払資金 | 970   |          | 1,283 |   | -313 |
| 支出の部 合計   | 2,553 |          | 2,489 |   | 64   |

#### 【施設関係】

USP 建設関連 415 百万円

#### 【設備関係】

教育研究用機器備品 33 百万円

## 3 活動区分資金収支計算書

学校法人会計基準改正に伴い資金の流れがわかる計算書類の一つとして新設された計算書。従来の補助金の配分の基礎となる「資金収支計算書」は維持した上で、追加的に活動区分資金収支計算書も作成し、より有用な情報を提供することを目的にしている。

活動区分資金収支計算書は、資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他活動」の 3 つの区分に分けて、それぞれの区分で収支を明らかにし資金の流れを表示する。いわゆる株式会社の作成するキャッシュ・フロー計算書と同じような区分になった。

# 活動区分資金収支計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

|                |                              | (単位：百万円)     |            |
|----------------|------------------------------|--------------|------------|
| 科目             |                              | 金額           | 構成比率       |
| 教育活動による資金収支    | 収入                           | 学生生徒等納付金収入   | 810 81%    |
|                |                              | 手数料収入        | 10 1%      |
|                |                              | 一般寄付金収入      | 19 2%      |
|                |                              | 経常費等補助金収入    | 82 8%      |
|                |                              | 付随事業収入       | 60 6%      |
|                |                              | 雑収入          | 14 1%      |
|                | 教育活動資金収入計                    |              | 995 100%   |
|                | 支出                           | 人件費支出        | 596 60%    |
|                |                              | 教育研究経費支出     | 206 21%    |
|                |                              | 管理経費支出       | 98 10%     |
|                |                              | 教育活動資金支出計    | 901 90%    |
|                | 差引                           |              | 94 9%      |
|                | 調整勘定等                        |              | -23 -2%    |
|                | 教育活動資金収支差額                   |              | 72 7%      |
| 施設整備等活動による資金収支 | 収入                           | 施設設備補助金収入    | 1 0%       |
|                |                              | 施設設備売却収入     | 19 2%      |
|                |                              | 施設整備等活動資金収入計 | 20 2%      |
|                | 支出                           | 施設関係支出       | 437 44%    |
|                |                              | 設備関係支出       | 36 4%      |
|                |                              | 施設整備等活動資金支出計 | 473 47%    |
|                | 差引                           |              | -453 -45%  |
|                | 調整勘定等                        |              | 192 19%    |
|                | 施設整備等活動資金収支差額                |              | -261 -26%  |
|                | 小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額） |              | -189 -19%  |
| その他の活動による資金収支  | 収入                           | 借入金等収入       | 450 45%    |
|                |                              | 預り金受入収入      | 509 51%    |
|                |                              | 立替金回収収入      | 15 2%      |
|                |                              | 仮払金回収収入      | 3 0%       |
|                |                              | 仮受金受入収入      | 7 1%       |
|                |                              | その他の活動資金収入計  | 984 99%    |
|                | 支出                           | 借入金等利息支出     | 1 0%       |
|                |                              | 借入金等返済支出     | 15 2%      |
|                |                              | 預り金支払支出      | 466 47%    |
|                |                              | 立替金支払支出      | 15 2%      |
|                |                              | 仮払金支払支出      | 3 0%       |
|                |                              | 仮受金支払支出      | 7 1%       |
|                |                              | その他の活動資金支出計  | 506 51%    |
|                | 差引                           |              | 478 48%    |
|                | その他の活動資金収支差額                 |              | 478 48%    |
|                | 支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）    |              | 289 29%    |
|                | 前年度繰越支払資金                    |              | 994 100%   |
|                | 翌年度繰越支払資金                    |              | 1,283 129% |
| 【参考】           |                              |              |            |
| 事業活動収入計        |                              | 997          | 100%       |
| 事業活動支出計        |                              | 1,293        | 130%       |

## 4 事業活動収支計算書

「消費収支計算書」の名称変更し「事業活動収支計算書」と改めた。当該計算書は、平成 29 年度の収支の内容と均衡状態を明確にして経営状況を表す計算書であり、企業会計の損益計算書に近いものである。法人に帰属する負債（借入金）にならない収入と、資産・借入返済・積立金などの資金的支出に充てる額（基本金組入額）を除いた支出を計上することで経営状況が健全であるか判断できる。

改正により収支を「経常収支」と「特別収支」の区分に分けて収支を表示する。臨時的な事象による影響を除いた経常的な収支のバランスを見ることができ、他の会計基準で作成された計算書類との比較も可能となる。また、「経常収支」は、さらに「教育活動収支」と「教育外活動収支」の二つに区分され、純粋に本業である教育研究活動から得られた利益かどうか判断できる。

### 事業活動収支計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

|               |          | (単位：百万円)  |        |      |      |
|---------------|----------|-----------|--------|------|------|
| 科目            |          | 予 算       | 決 算    | 差 異  |      |
| 教育活動収支        | 収入       | 学生生徒等納付金  | 824    | 810  | 14   |
|               |          | 手数料       | 12     | 10   | 2    |
|               |          | 寄付金       | 11     | 19   | -8   |
|               |          | 経常費等補助金   | 98     | 82   | 17   |
|               |          | 付随事業収入    | 66     | 60   | 7    |
|               |          | 雑収入       | 8      | 14   | -6   |
|               |          | 教育活動収入計   | 1,020  | 995  | 25   |
|               | 支出       | 人件費       | 627    | 599  | 28   |
|               |          | 教育研究経費    | 318    | 304  | 13   |
|               |          | 管理経費      | 125    | 107  | 18   |
| 教育活動支出計       |          | 1,070     | 1,010  | 60   |      |
| 教育活動収支差額      |          | -50       | -15    | -35  |      |
| 教育活動外収支       | 収入       |           |        |      |      |
|               | 教育活動外収入計 | 0         | 0      | 0    |      |
|               | 支出       |           |        |      |      |
|               | 教育活動外支出計 | 5         | 1      | 4    |      |
| 教育活動外収支差額     |          | -4        | 0      | -4   |      |
| 経常収支差額        |          | -55       | -15    | -39  |      |
| 特別収支          | 収入       | その他の特別収入  | 8      | 1    | 7    |
|               |          | 特別収入計     | 8      | 1    | 7    |
|               | 支出       | 資産 処分 差額  | 35     | 282  | -247 |
|               |          | 建 物 処分 差額 | 33     | 91   | -57  |
|               |          | 土 地 処分 差額 | 0      | 187  | -187 |
|               |          | 特別支出計     | 35     | 282  | -247 |
|               | 特別収支差額   |           | -27    | -281 | 254  |
| 〔予 備 費〕       |          | 5         |        | 5    |      |
| 基本金組入前当年度収支差額 |          | -86       | -296   | 210  |      |
| 基本金組入額合計      |          | -100      | -26    | -74  |      |
| 当年度収支差額       |          | -186      | -322   | 136  |      |
| 前年度繰越収支差額     |          | -2,293    | -1,545 | -749 |      |
| 基本金取崩額        |          | 0         | 197    | -197 |      |
| 翌年度繰越収支差額     |          | -2,480    | -1,670 | -810 |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |
|               |          |           |        |      |      |

#### 【教育活動収支】

本業である教育研究活動から得られた利益を表す。  
大まかに言えば教育活動資金収支差額から減価償却額を控除した金額。一般的には、これが赤字であれば将来の施設更新のための資金留保が困難になっている兆候を表す。

#### 【教育活動外収支】

主に財務活動から得られた利益を表す。

#### 【特別収支】

臨時的な事象による収支を表す。

#### 【基本金組入前 当年度収支差額】

基本金の組入による影響を除いた純粋な当年度の収支差額(旧・帰属収支差額)のこと。  
「事業活動収入計」から「事業活動支出計」を差し引いた収支差額を表す。

## 5 貸借対照表

平成 29 年度末における資産・負債・基本金及び収支差額を把握し、学校法人としての財政状態（運用形態と調達源泉）の健全性を表す。

貸借対照表  
(平成 30 年 3 月 31 日)

| 資産の部          |               | (単位：百万円)      |             |  |
|---------------|---------------|---------------|-------------|--|
| 科目            | 本年度末          | 前年度末          | 増減          |  |
| <b>固定資産</b>   | <b>3,114</b>  | <b>3,052</b>  | <b>62</b>   |  |
| 有形 固定 資産      | 3,033         | 2,971         | 62          |  |
| 土 地           | 760           | 957           | -197        |  |
| 建 物           | 2,024         | 1,785         | 238         |  |
| 構 築 物         | 31            | 14            | 17          |  |
| 教育研究用機器備品     | 117           | 115           | 2           |  |
| 管理用機器備品       | 6             | 6             | 0           |  |
| 図 書           | 94            | 93            | 1           |  |
| 車 輦           | 0             | 1             | -1          |  |
| 特 定 資 産       | 65            | 65            | 0           |  |
| 施設維持・拡充引当特定資産 | 65            | 65            | 0           |  |
| その他の固定資産      | 16            | 16            | 0           |  |
| 電 話 加 入 権     | 1             | 1             | 0           |  |
| 有 価 証 券       | 1             | 1             | 0           |  |
| 保 証 金         | 13            | 13            | 0           |  |
| <b>流動資産</b>   | <b>1,312</b>  | <b>1,017</b>  | <b>295</b>  |  |
| 現 金 預 金       | 1,283         | 994           | 289         |  |
| 未 収 入 金       | 25            | 22            | 3           |  |
| 貯 蔵 品         | 4             | 0             | 4           |  |
| 資産の部合計        | 4,426         | 4,069         | 357         |  |
|               |               |               |             |  |
| 負債の部          |               |               |             |  |
| 科目            | 本年度末          | 前年度末          | 増減          |  |
| <b>固定負債</b>   | <b>650</b>    | <b>201</b>    | <b>449</b>  |  |
| 長 期 借 入 金     | 450           | 4             | 446         |  |
| 退職給与引当金       | 200           | 197           | 3           |  |
| <b>流動負債</b>   | <b>552</b>    | <b>348</b>    | <b>204</b>  |  |
| 短 期 借 入 金     | 4             | 15            | -11         |  |
| 未 払 金         | 240           | 37            | 203         |  |
| 前 受 金         | 246           | 276           | -31         |  |
| 預 り 金         | 62            | 19            | 43          |  |
| 負債の部合計        | 1,201         | 549           | 653         |  |
|               |               |               |             |  |
| 純資産の部         |               |               |             |  |
| 科目            | 本年度末          | 前年度末          | 増減          |  |
| <b>基本金</b>    | <b>4,894</b>  | <b>5,065</b>  | <b>-171</b> |  |
| 第 1 号 基本金     | 4,817         | 4,988         | -171        |  |
| 第 4 号 基本金     | 77            | 77            | 0           |  |
| <b>繰越収支差額</b> | <b>-1,670</b> | <b>-1,545</b> | <b>-125</b> |  |
| 翌年度繰越収支差額     | -1,670        | -1,545        | -125        |  |
| 純資産の部合計       | 3,225         | 3,520         | -296        |  |
| 負債及び純資産の部合計   | 4,426         | 4,069         | 357         |  |

### 【固定資産】

土地 197 百万円の減少は旧、富山中央学院を売却したもの。

建物 238 百万円の増加と構築物 17 百万円の増加は USP 建築に伴うもの。

### 【流動資産】

現預金の 289 百万円の増加は主に USP 未払金に伴うもの。

### 【固定負債】

長期借入金の 446 百万円の増加は USP 建設資金を北陸銀行より資金調達をした。

### 【流動負債】

未払金 203 百万円の増加は USP 建築に伴うもの。

### 【基本金】

《第 1 号》  
4,817 百万円となり、171 百万円を取り崩した。

《第 4 号》  
前年度どおり、77 百万円となった。

## 6 各種財務データの推移等（新学校法人会計基準に合わせて作成）

### ■経年比較

#### <資金収支計算書>

| 区分    | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学生生徒数 | 1,023  | 992    | 899    | 869    | 849    |
| 専任教員数 | 63     | 62     | 57     | 58     | 60     |
| 専任職員数 | 37     | 37     | 36     | 39     | 39     |

| 区分          | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学生生徒等納付金収入  | 982    | 948    | 874    | 821    | 810    |
| 手数料収入       | 12     | 13     | 12     | 12     | 10     |
| 寄付金収入       | 0      | 0      | 4      | 8      | 19     |
| 補助金収入       | 125    | 113    | 115    | 110    | 83     |
| 国庫補助金収入     | 118    | 109    | 113    | 107    | 78     |
| 地方公共団体補助金収入 | 7      | 4      | 2      | 3      | 5      |
| 資産売却収入      | 0      | 0      | 0      | 0      | 19     |
| 付随事業・収益事業収入 | 68     | 66     | 44     | 52     | 60     |
| 受取利息・配当金収入  | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 雑収入         | 7      | 10     | 9      | 11     | 14     |
| 借入金等収入      | 0      | 0      | 0      | 0      | 450    |
| 前受金収入       | 320    | 300    | 280    | 276    | 246    |
| その他の収入      | 132    | 163    | 148    | 83     | 85     |
| 資金収入調整勘定    | -427   | -379   | -361   | -302   | -301   |
| 前年度繰越支払資金   | 767    | 830    | 952    | 1047   | 994    |
| 収入の部合計      | 1,986  | 2,064  | 2,077  | 2,118  | 2,489  |
| 人件費支出       | 625    | 646    | 591    | 586    | 596    |
| 教育研究経費支出    | 226    | 206    | 184    | 208    | 206    |
| 管理経費支出      | 82     | 90     | 86     | 121    | 98     |
| 借入金等利息支出    | 3      | 2      | 1      | 1      | 1      |
| 借入金等返済支出    | 64     | 45     | 45     | 23     | 15     |
| 施設関係支出      | 27     | 3      | 0      | 1      | 437    |
| 設備関係支出      | 51     | 13     | 16     | 16     | 36     |
| 資産運用支出      | 0      | 0      | 0      | 65     | 0      |
| その他の支出      | 163    | 180    | 158    | 141    | 57     |
| 資金支出調整勘定    | -85    | -73    | -52    | -37    | -240   |
| 翌年度繰越支払資金   | 830    | 952    | 1047   | 994    | 1283   |
| 支出の部合計      | 1,986  | 2,064  | 2,076  | 2,118  | 2,489  |

【施設関係】  
USP 建設関連

415 百万円

【設備関係】  
教育研究用機器備品

33 百万円

<活動区分別資金収支計算書>

| 区分                           |                   | 平成27年度   | 平成28年度 | 平成29年度 |
|------------------------------|-------------------|----------|--------|--------|
|                              | 学生生徒数             | 899      | 869    | 849    |
|                              | 専任教員数             | 57       | 58     | 60     |
|                              | 専任職員数             | 36       | 39     | 39     |
|                              |                   | (単位：百万円) |        |        |
| 区分                           |                   | 平成27年度   | 平成28年度 | 平成29年度 |
| 教育活動による資金収支                  | 収入                |          |        |        |
|                              | 学生生徒等納付金収入        | 874      | 821    | 810    |
|                              | 一般寄付金収入           | 4        | 8      | 19     |
|                              | 経常費等補助金収入         | 105      | 104    | 82     |
|                              | 付随事業収入            | 44       | 52     | 60     |
|                              | 雑収入               | 9        | 11     | 14     |
|                              | 教育活動資金収入計         | 1,048    | 1,008  | 995    |
|                              | 支出                |          |        |        |
|                              | 人件費支出             | 591      | 586    | 596    |
|                              | 教育研究経費支出          | 184      | 208    | 206    |
|                              | 管理経費支出            | 86       | 121    | 98     |
|                              | 教育活動資金支出計         | 861      | 915    | 901    |
|                              | 差引                | 187      | 93     | 94     |
| 施設整備等活動による資金収支               | 調整勘定等             | -33      | 21     | -23    |
|                              | 教育活動資金収支差額        | 154      | 114    | 72     |
|                              | 収入                |          |        |        |
|                              | 施設設備補助金収入         | 10       | 6      | 1      |
|                              | 施設設備売却収入          | 0        | 0      | 19     |
|                              | 施設整備等活動資金収入計      | 10       | 6      | 20     |
|                              | 支出                |          |        |        |
|                              | 施設関係支出            | 0        | 1      | 441    |
|                              | 設備関係支出            | 16       | 16     | 36     |
|                              | 施設維持・拡充引当特定資産繰入支出 | 0        | 65     | 0      |
|                              | 施設整備等活動資金支出計      | 16       | 82     | 473    |
|                              | 差引                | -6       | -76    | -453   |
|                              | 調整勘定等             | -10      | 0      | 0      |
|                              | 施設整備等活動資金収支差額     | -16      | -76    | -261   |
| 小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額） |                   | 138      | 38     | -189   |
| その他の活動による資金収支                | 収入                |          |        |        |
|                              | 借入金等収入            | 0        | 0      | 450    |
|                              | 預り金受入収入           | 435      | 383    | 509    |
|                              | 立替金回収収入           | 4        | 48     | 15     |
|                              | 仮払金回収収入           | 5        | 14     | 3      |
|                              | 仮受金受入収入           | 2        | 1      | 7      |
|                              | 内部資金収入            | 2,406    | 2,103  | 2,701  |
|                              | その他の活動資金収入計       | 2,852    | 2,549  | 3,685  |
|                              | 支出                |          |        |        |
|                              | 借入金等利息支出          | 1        | 1      | 1      |
|                              | 借入金等返済支出          | 45       | 23     | 15     |
|                              | 預り金支払支出           | 430      | 452    | 466    |
|                              | 立替金支払支出           | 6        | 47     | 15     |
|                              | 仮払金支払支出           | 5        | 14     | 3      |
|                              | 仮受金支払支出           | 2        | 1      | 7      |
|                              | 内部資金支出            | 2,406    | 2,103  | 2,701  |
|                              | その他の活動資金支出計       | 2,894    | 2,640  | 3,207  |
|                              | 差引                | -42      | -91    | 478    |
|                              | その他の活動資金収支差額      | -42      | -91    | 478    |
| 支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）    |                   | 96       | -53    | 289    |
| 前年度繰越支払資金                    |                   | 952      | 1,047  | 994    |
| 翌年度繰越支払資金                    |                   | 1,047    | 994    | 1,283  |

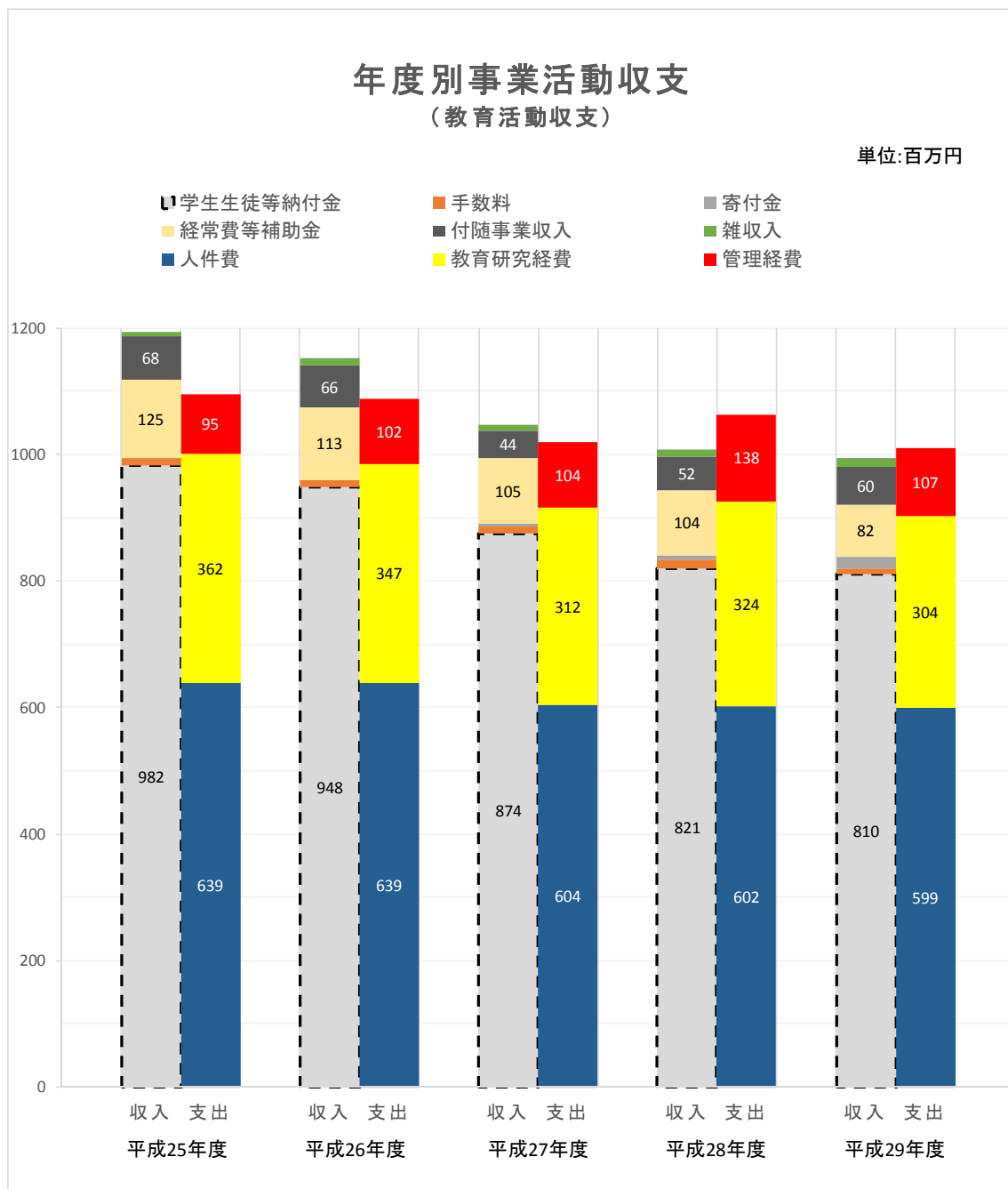
# <事業活動収支計算書>

| 区分    | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学生生徒数 | 1,023  | 992    | 899    | 869    | 849    |
| 専任教員数 | 63     | 62     | 57     | 58     | 60     |
| 専任職員数 | 37     | 37     | 36     | 38     | 38     |

(単位：百万円)

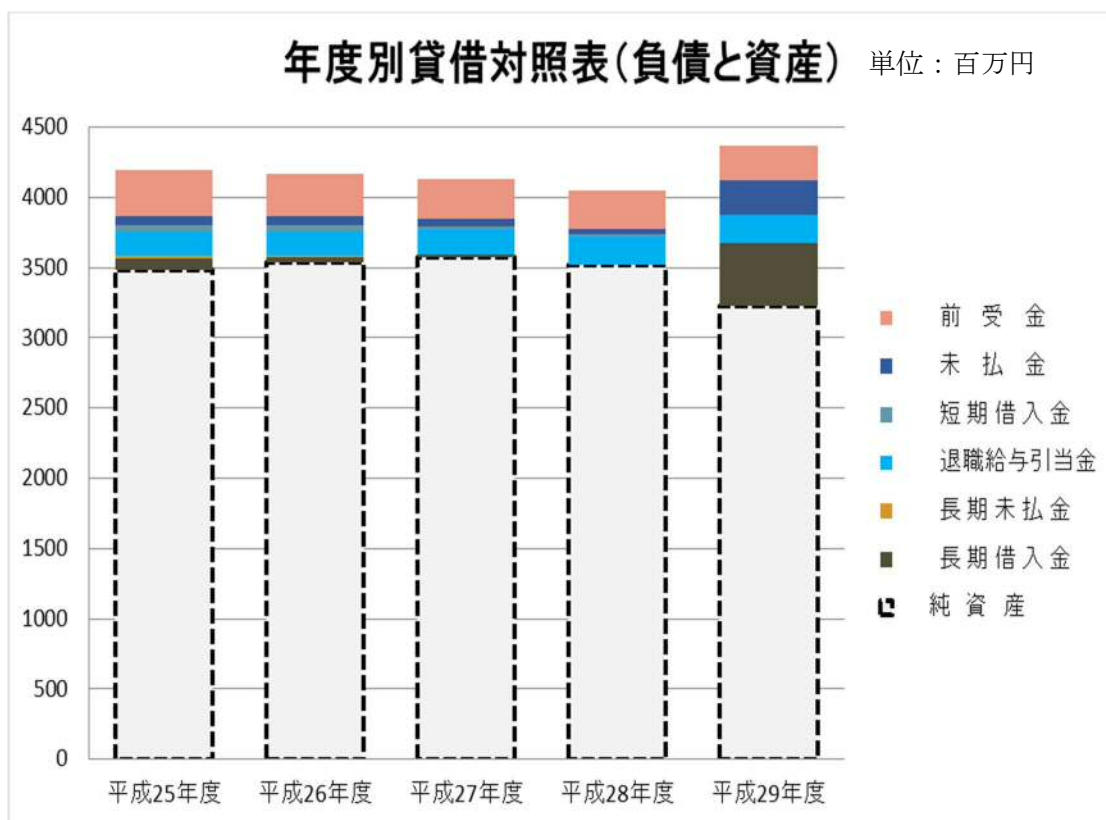
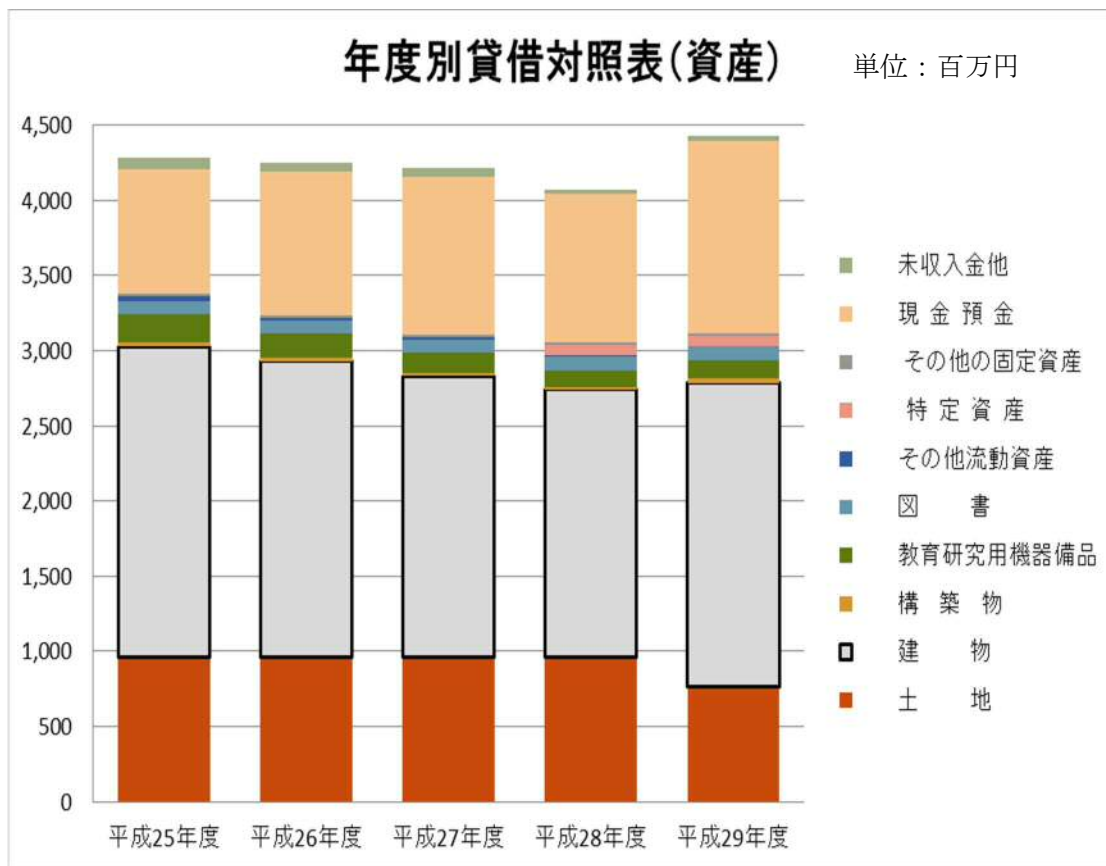
|               |           | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---------------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 教育活動収支        | 収入        |        |        |        |        |        |
|               | 学生生徒等納付金  | 982    | 948    | 874    | 821    | 810    |
|               | 手数料       | 12     | 13     | 12     | 12     | 10     |
|               | 寄付金       | 0      | 0      | 4      | 8      | 19     |
|               | 経常費等補助金   | 125    | 113    | 105    | 104    | 82     |
|               | 付随事業収入    | 68     | 66     | 44     | 52     | 60     |
|               | 雑収入       | 7      | 12     | 9      | 11     | 14     |
|               | 教育活動収入計   | 1,194  | 1,152  | 1,048  | 1,008  | 995    |
|               | 支出        |        |        |        |        |        |
|               | 人件費       | 639    | 639    | 604    | 602    | 599    |
| 教育活動外収支       | 教育研究経費    | 362    | 347    | 312    | 324    | 304    |
|               | 管理経費      | 95     | 102    | 104    | 138    | 107    |
|               | 教育活動支出計   | 1,096  | 1,089  | 1,020  | 1,064  | 1,011  |
|               | 教育活動収支差額  | 98     | 63     | 28     | -56    | -15    |
|               | 収入        |        |        |        |        |        |
|               | 受取利息・配当金  | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|               | 教育活動外収入計  | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|               | 支出        |        |        |        |        |        |
|               | 借入金等利息    | 3      | 2      | 1      | 1      | 1      |
|               | 教育活動外支出計  | 3      | 2      | 1      | 1      | 1      |
| 特別収支          | 教育活動外収支差額 | -3     | -2     | -1     | 0      | 0      |
|               | 経常収支差額    | 95     | 61     | 27     | -56    | -15    |
|               | 収入        |        |        |        |        |        |
|               | その他の特別収入  | 0      | 0      | 10     | 6      | 1      |
|               | 特別収入計     | 0      | 0      | 10     | 6      | 1      |
|               | 支出        |        |        |        |        |        |
|               | 資産 処分 差額  | 5      | 2      | 4      | 1      | 282    |
|               | その他の特別支出  | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|               | 特別支出計     | 5      | 2      | 4      | 1      | 282    |
|               | 特別収支差額    | -5     | -2     | 6      | 5      | -281   |
| 〔予 備 費〕       |           | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | 90     | 60     | 34     | -52    | -296   |
| 基本金組入額合計      |           | -83    | -50    | -48    | -14    | -26    |
| 当年度収支差額       |           | 7      | 9      | -14    | -66    | -322   |
| 前年度繰越収支差額     |           | -2,061 | -2,054 | -2,044 | -1,495 | -1,545 |
| 基本金取崩額        |           | 1      | 0      | 564    | 16     | 197    |
| 翌年度繰越収支差額     |           | -2,054 | -2,044 | -1,495 | -1,545 | -1,670 |
| (参考)          |           |        |        |        |        |        |
| 事業活動収入計       |           | 1,194  | 1,152  | 1,059  | 1,014  | 997    |
| 事業活動支出計       |           | 1,104  | 1,092  | 1,025  | 1,065  | 1,293  |

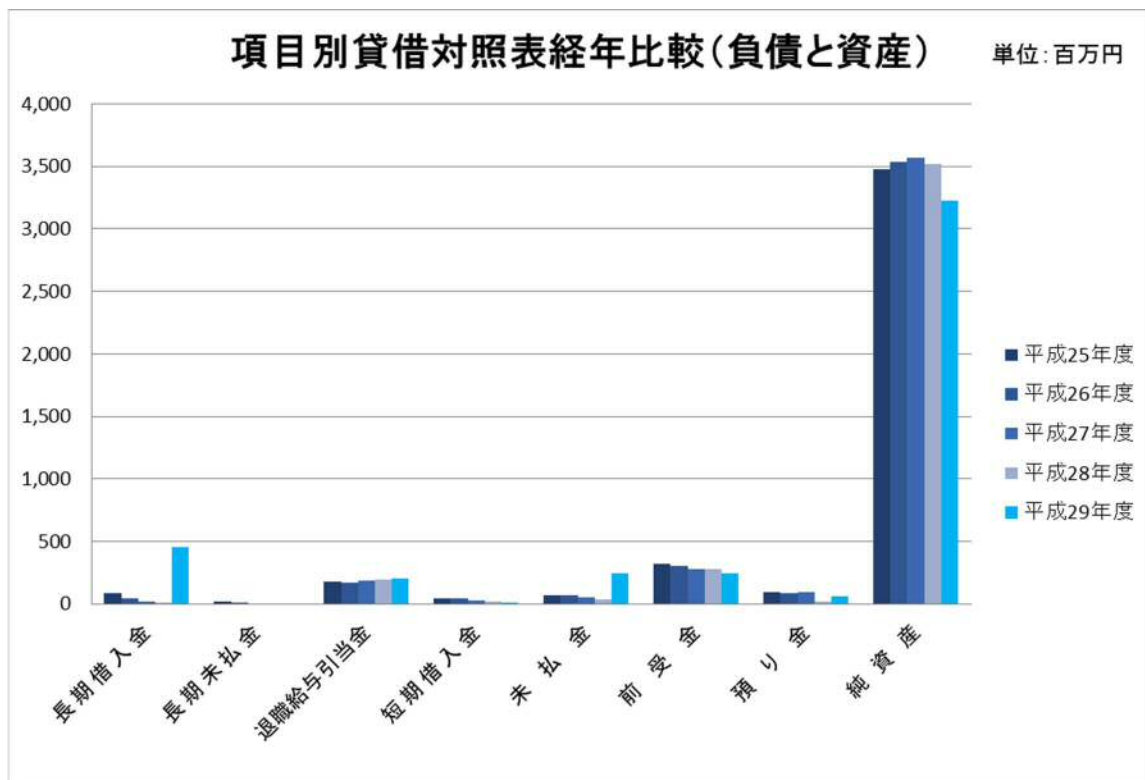
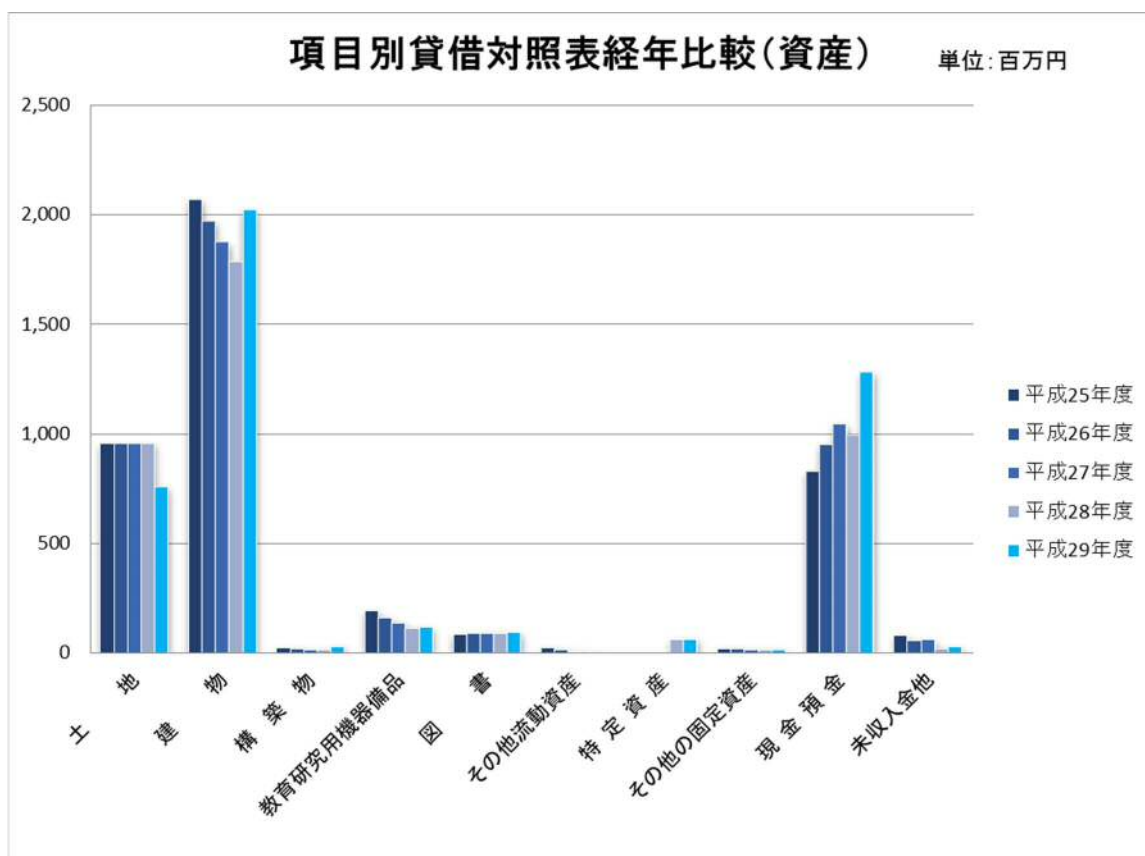
## <事業活動収支計算書>



## ＜貸借対照表＞

| 資産の部               |               |               |               |               |               |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| (単位：百万円)           |               |               |               |               |               |
| 区分                 | 平成25年度        | 平成26年度        | 平成27年度        | 平成28年度        | 平成29年度        |
| <b>固定資産</b>        | <b>3,375</b>  | <b>3,238</b>  | <b>3,105</b>  | <b>3,052</b>  | <b>3,114</b>  |
| 有形固定資産             | 3,357         | 3,217         | 3,088         | 2,971         | 3,033         |
| 土地                 | 957           | 957           | 957           | 957           | 760           |
| 建物                 | 2,071         | 1,972         | 1,874         | 1,785         | 2,024         |
| 構築物                | 23            | 20            | 16            | 14            | 31            |
| 教育研究用機器備品          | 195           | 162           | 138           | 115           | 117           |
| 管理用機器備品            | 14            | 11            | 8             | 6             | 6             |
| 図書                 | 86            | 89            | 91            | 93            | 94            |
| 車輦                 | 9             | 6             | 4             | 1             | 0             |
| 特定資産               | 0             | 0             | 0             | 65            | 65            |
| 施設維持・拡充引当特定資産      | 0             | 0             | 0             | 65            | 65            |
| その他の固定資産           | 18            | 21            | 17            | 16            | 16            |
| ソフトウェア             | 1             | 1             | 0             | 0             | 0             |
| 電話加入権              | 1             | 1             | 1             | 1             | 1             |
| 有価証券               | 1             | 1             | 1             | 1             | 1             |
| 保証金                | 14            | 14            | 13            | 13            | 13            |
| <b>流動資産</b>        | <b>912</b>    | <b>1,010</b>  | <b>1,111</b>  | <b>1,017</b>  | <b>1,312</b>  |
| 現金預金               | 830           | 952           | 1,047         | 994           | 1,283         |
| 未収入金               | 78            | 58            | 61            | 22            | 25            |
| 貯蔵品                | 2             | 0             | 0             | 0             | 4             |
| 立替金                | 2             | 0             | 2             | 0             | 0             |
| <b>資産の部合計</b>      | <b>4,287</b>  | <b>4,249</b>  | <b>4,215</b>  | <b>4,069</b>  | <b>4,426</b>  |
| 負債の部               |               |               |               |               |               |
| (単位：百万円)           |               |               |               |               |               |
| 区分                 | 平成25年度        | 平成26年度        | 平成27年度        | 平成28年度        | 平成29年度        |
| <b>固定負債</b>        | <b>282</b>    | <b>219</b>    | <b>200</b>    | <b>201</b>    | <b>650</b>    |
| 長期借入金              | 86            | 41            | 19            | 4             | 450           |
| 長期未払金              | 19            | 9             | 0             | 0             | 0             |
| 退職給与引当金            | 177           | 168           | 181           | 197           | 200           |
| <b>流動負債</b>        | <b>526</b>    | <b>492</b>    | <b>443</b>    | <b>348</b>    | <b>552</b>    |
| 短期借入金              | 45            | 45            | 23            | 15            | 4             |
| 未払金                | 65            | 64            | 52            | 37            | 240           |
| 前受金                | 320           | 300           | 280           | 276           | 246           |
| 預り金                | 96            | 83            | 89            | 19            | 62            |
| <b>負債の部合計</b>      | <b>809</b>    | <b>710</b>    | <b>643</b>    | <b>549</b>    | <b>1,201</b>  |
| 純資産の部              |               |               |               |               |               |
| (単位：百万円)           |               |               |               |               |               |
| 区分                 | 平成25年度        | 平成26年度        | 平成27年度        | 平成28年度        | 平成29年度        |
| <b>基本金</b>         | <b>5,532</b>  | <b>5,583</b>  | <b>5,067</b>  | <b>5,065</b>  | <b>4,894</b>  |
| 第1号基本金             | 5,458         | 5,506         | 4,990         | 4,988         | 4,817         |
| 第4号基本金             | 74            | 77            | 77            | 77            | 77            |
| <b>繰越収支差額</b>      | <b>-2,054</b> | <b>-2,044</b> | <b>-1,495</b> | <b>-1,545</b> | <b>-1,670</b> |
| 翌年度繰越収支差額          | -2,054        | -2,044        | -1,495        | -1,545        | -1,670        |
| <b>純資産の部合計</b>     | <b>3,479</b>  | <b>3,538</b>  | <b>3,572</b>  | <b>3,520</b>  | <b>3,225</b>  |
| <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>4,287</b>  | <b>4,249</b>  | <b>4,215</b>  | <b>4,069</b>  | <b>4,426</b>  |





## ■主な財務比率

### (1) 貸借対照表関係比率

| 区分                                                   |    |          |           |        | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|------------------------------------------------------|----|----------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 分類                                                   | 項目 |          | 算式 (×100) |        | 評価     | %      | %      | %      | %      |
| 財政<br>対<br>照<br>表<br>の<br>状<br>況<br>関<br>係<br>比<br>率 | 1  | 固定資産比率   | 固定資産      | 総資産    | ▼      | 78.7   | 76.2   | 73.6   | 75.0   |
|                                                      | 2  | 有形固定資産比率 | 有形固定資産    | 総資産    | ▼      | 78.3   | 75.7   | 73.2   | 73.0   |
|                                                      | 3  | 特定資産比率   | 特定資産      | 総資産    | △      | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 1.6    |
|                                                      | 4  | 流動資産比率   | 流動資産      | 総資産    | △      | 21.3   | 23.8   | 26.4   | 25.0   |
|                                                      | 5  | 固定負債比率   | 固定負債      | 負債＋純資産 | ▼      | 6.6    | 5.1    | 4.7    | 4.9    |
|                                                      | 6  | 流動負債比率   | 流動負債      | 負債＋純資産 | ▼      | 12.3   | 11.6   | 10.5   | 8.6    |
|                                                      | 7  | 繰越収支差額比率 | 繰越収支差額    | 負債＋純資産 | △      | -47.9  | -48.1  | -35.5  | -38.0  |
|                                                      | 8  | 固定比率     | 固定資産      | 純資産    | ▼      | 97.0   | 91.5   | 86.9   | 86.7   |
|                                                      | 9  | 流動比率     | 流動資産      | 流動負債   | △      | 173.3  | 205.5  | 250.5  | 292.3  |
|                                                      | 10 | 総負債比率    | 総負債       | 総資産    | ▼      | 18.9   | 16.7   | 15.3   | 13.5   |
|                                                      | 11 | 負債比率     | 総負債       | 純資産    | ▼      | 23.2   | 20.1   | 18.0   | 15.6   |
|                                                      | 12 | 前受金保有率   | 現金        | 前受金    | △      | 258.8  | 317.7  | 374.3  | 359.7  |

※ 評価 (適正水準)

△ 高い値が良い

～ どちらともいえない

▼ 低い値が良い

| No. | 項目         | 財務分析の読み方                                                                                                                    |
|-----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 固定資産構成比率   | 固定資産の総資産に占める構成割合で、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標                                                                         |
| 2   | 有形固定資産構成比率 | 有形固定資産の総資産に占める構成割合で、土地・建物等の有形固定資産の構成比が資産構成上バランスがとれているかを評価する指標                                                               |
| 3   | 特定資産構成比率   | 特定資産の総資産に占める構成割合で、各種引当特定資産などの長期にわたって特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況を評価する指標                                                           |
| 4   | 流動資産構成比率   | 流動資産の総資産に占める構成割合で、固定資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標                                                                         |
| 5   | 固定負債構成比率   | 固定負債の「総負債および純資産の合計額」に占める構成割合で、主に長期的な債務の状況を評価するものであり、流動負債構成比率とともに負債構成のバランスと比重を評価する指標                                         |
| 6   | 流動負債構成比率   | 流動負債の「総負債および純資産の合計額」に占める構成割合で、主に短期的な債務の比重を評価するものであり、固定負債構成比率とともに負債構成のバランスと比重を評価する指標                                         |
| 7   | 繰越収支差額構成比率 | 繰越収支差額の「総負債および純資産の合計額」に占める構成割合                                                                                              |
| 8   | 固定比率       | 固定資産の純資産に対する割合で、土地・建物・施設等の固定資産に対してどの程度純資産が投下されているか、すなわち資金の調達源泉とその使途とを対比させる比率                                                |
| 9   | 流動比率       | 流動負債に対する流動資産の割合である。一年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対して、現金預金又は一年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという、学校法人の資金流動性すなわち短期的な支払い能力を判断する重要な指標の一つ |
| 10  | 総負債比率      | 固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合で、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な比率                                                                   |
| 11  | 負債比率       | 他人資金と自己資金との割合で、他人資金である総負債が自己資金である純資産を上回っていないかを測る比率                                                                          |
| 12  | 前受金保有率     | 前受金と現金預金との割合で、当該年度に収受している翌年度分の授業料や入学金等が、翌年度繰越支払資金たる現金預金の形で当該年度末に適切に保有されているかを測る比率 (100%を超えることが一般的)                           |

## (2) 事業活動収支計算書関係比率

| 区分                                               |              |                         |    | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------------------------------------------------|--------------|-------------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 分類                                               | 項目           | 算式 (×100)               | 評価 | %      | %      | %      | %      | %      |
| 経営<br>活動<br>の<br>状<br>況<br>書<br>関<br>係<br>比<br>率 | 1 人件費比率      | 人件費<br>経常収入             | ▼  | 53.5   | 55.5   | 57.6   | 59.7   | 60.2   |
|                                                  | 2 人件費依存率     | 人件費<br>学生生徒等納付金         | ▼  | 65.1   | 67.4   | 69.1   | 73.3   | 73.9   |
|                                                  | 3 教育研究経費比率   | 教育研究経費<br>経常収入          | △  | 30.3   | 30.1   | 29.8   | 32.1   | 30.6   |
|                                                  | 4 管理経費比率     | 管理経費<br>経常収入            | ▼  | 8.0    | 8.9    | 9.9    | 13.7   | 10.7   |
|                                                  | 5 借入金等利息比率   | 借入金等利息<br>経常収入          | ▼  | 0.2    | 0.2    | 0.1    | 0.1    | 0.1    |
|                                                  | 6 事業活動収支差額比率 | 基本金組入前当年度収支差額<br>事業活動収入 | △  | 7.5    | 5.2    | 3.2    | -5.1   | -29.7  |
|                                                  | 7 基本金組入後収支比率 | 事業活動収入－基本金組入額<br>事業活動収入 | ▼  | 99.4   | 99.2   | 101.4  | 106.6  | 129.7  |
|                                                  | 8 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金<br>経常収入        | ～  | 82.2   | 82.3   | 83.4   | 81.5   | 81.4   |
|                                                  | 9 寄付金比率      | 寄付金<br>事業活動収入           | △  | 0.0    | 0.0    | 0.4    | 0.7    | 1.9    |
|                                                  | 10 補助金比率     | 補助金<br>事業活動収入           | △  | 10.4   | 9.8    | 9.9    | 10.3   | 8.2    |
|                                                  | 經常補助金比率      | 教育活動収支の補助金<br>経常収入      | △  | 10.4   | 9.8    | 10.0   | 10.3   | 8.2    |
|                                                  | 11 基本金組入率    | 基本金組入額<br>事業活動収入        | △  | 7.0    | 4.4    | 4.5    | 1.4    | 0.0    |
|                                                  | 12 減価償却額比率   | 減価償却額<br>経常支出           | ～  | 13.7   | 13.9   | 14.3   | 12.5   | 10.9   |

※ 評価（適正水準）

△ 高い値が良い

～ どちらともいえない

▼ 低い値が良い

| No. | 項目         | 財務分析の読み方                                             |
|-----|------------|------------------------------------------------------|
| 1   | 人件費比率      | 人件費の経常収入に占める割合を示す重要な比率                               |
| 2   | 人件費依存率     | 人件費の学生生徒等納付金に占める割合を示す比率                              |
| 3   | 教育研究経費比率   | 教育研究経費の経常収入に占める割合                                    |
| 4   | 管理経費比率     | 経常収入に対する管理経費の占める割合                                   |
| 5   | 借入金等利息比率   | 経常収入に対する借入金等利息の占める割合                                 |
| 6   | 事業活動収支差額比率 | 事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合                        |
| 7   | 基本金組入後収支比率 | 事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率            |
| 8   | 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金の経常収入に占める割合                                  |
| 9   | 寄付金比率      | 寄付金の事業活動収入に占める割合                                     |
| 10  | 補助金比率      | 国又は地方公共団体の補助金の事業活動収入に占める割合                           |
|     | 經常補助金比率    | 上記補助金比率につき経常的な要素に限定した比率                              |
| 11  | 基本金組入率     | 事業活動収入の総額から基本金への組入れ状況を示す比率                           |
| 12  | 減価償却額比率    | 減価償却額の経常支出に占める割合で、当該年度の経常支出のうち減価償却額がどの程度の水準にあるかを測る比率 |